

令和7年度

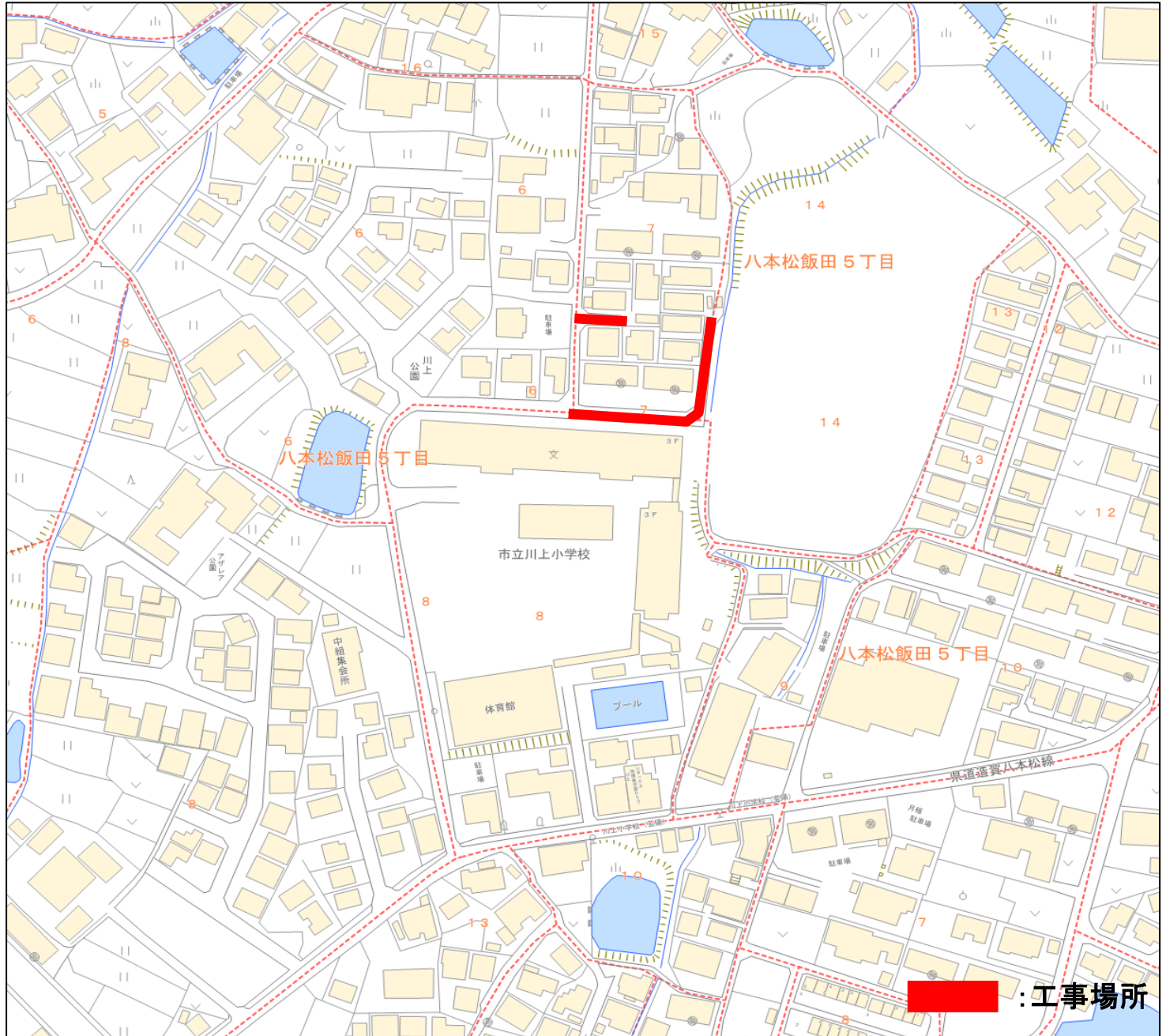
上水道拡張事業

八本松飯田五丁目地区配水管布設工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松飯田五丁目

位置図



特 記 仕 様 書

(八本松飯田五丁目地区配水管布設工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 配管従事者の条件等

第2章 工事材料

1. 溶融スラグを利用した資材の使用
2. 使用材料

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 施工時期・時間の制限
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
 - (2) 購入土(搬入)(新材料)
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地)
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)
 - (4) 建設汚泥(搬出)
5. 工事支障物件
 - (1) 試掘調査
6. その他
 - (1) 部分使用
 - (2) 給水要望事業
 - (3) 工事中の安全確保
 - (4) 施工時期及び施工時間の変更
 - (5) 水圧試験
 - (6) 工事の施工について【配水管】
 - (7) 工事の施工について【給水管(水道用ポリエチレン二層管)】
 - (8) 耐震補強金具の施工について

(9) 水道技術管理補助者検査について

第4章 施工管理

1. 出来形管理
 - (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物
 - (2) 出来形管理報告
2. 品質管理
 - (1) 品質管理報告

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 提出書類

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。
- (2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (14) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。

3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

直接工事費に係る作業終了後、速やかに、速やかに「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム

- (1) 工事中情報共有システムの利用は受注者の任意である。
- (2) 受注者が工事中情報共有システムの利用を希望する場合、発注者に連絡の上、利用申込すること。

- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
- 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
- (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 配管従事者の条件等

- 1 水道配水用ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会（以下「POLITEC」という。）による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講証」の写しを提出すること。

第2章 工事材料

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグを利用した資材を優先的に使用すること。熔融スラグ利用にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠のこと。

2. 使用材料

(1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	プレキャスト製品	同上	
配管材料	ポリエチレン管	同上	
	塩化ビニル管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン
	管付属品	同上	ポリスリーブ・ロケティングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難い場合に、（公社）日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

(2) 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所に問い合わせること。

調整リングの材質については、レジンコンクリート製（日水協検査品）を標準としているが、樹脂製又は铸铁製によるものの使用についても承諾する。

(3) フランジ継手工は、緩み防止のため、ボルト、ナットにワッシャ（平座金）を取り付けること。なお、フランジ継手材の材質については、以下のとおりとするが、原則RF-GF形とする。

- ・フランジ用パッキン(RF-RF)は、凸部付きパッキン(日水協検査品)とする。
- ・フランジ用パッキン(RF-GF)は、GF形ガスケット1号(JIS G 5527)とする。
- ・フランジ用ボルト、ナット及びワッシャは、SUS製とする。なお、ボルト又はナットのねじ部に焼き付き防止処理を施したものを使用しなければならない。

(4) 仕切弁は原則、右回り開とするが黒瀬町内に設置する仕切弁についてのみ左回り開とする。

(5) 不断水割T字管のI寸法の長さは、下記表の寸法を参考値として用いている。

品質基準に合格するものであれば、これによらなくてもよいものとする。

製品規格	I寸法(mm)	製品規格	I寸法(mm)
不断水割T字管(φ100×φ50VP用)	207		

(6) ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 施工時期・時間の制限

施工内容	運搬作業
時期	全工事期間
時間	7:00～17:00
施工方法・理由	小学校に近接しているため、登下校時間は工事用車両の通行に気を付けること。

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

- 交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から7日間(3人／日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 盛土・埋戻土

(1) 購入土(搬入)(建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)

本工事では、30m³(ほぐし)の土砂購入を見込んでいる。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費(工場渡し)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用(単価)は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

(2) 購入土(搬入)(真砂土)

本工事では、22m³(ほぐし)の真砂土購入を見込んでいる。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称) カワモトリサイクルセンター

(所在地) 東広島市志和町内字塚土山10001

(運搬距離) 7.2 km

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 7.7 km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 7.2 km を見込んでいる。

(4) 建設汚泥(搬出)

- ・舗装の切断作業時に発生する排水（汚泥）は、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理しなければならない。
- ・舗装の切断作業時に発生する排水 0.3m³ は、建設汚泥として、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。なお、搬出先は、運搬費と受入費の合計が最も安価になる施設を見込んでおり、設計変更の対象としない。
また、運搬距離は 16.1km を見込んでいる。
- ・受注者は、舗装の切断作業時に発生した排水の委託処理に関する契約書の写しを提出すること。また、工事完成后、速やかに本工事の工事名を記載して交付したマニフェストの写しを監督員に提出すること。ただし、アスファルトコア採取の排水については、受注者において適正に管理するものとし、提出は求めない。
- ・実施数量は、次の計算式又はマニフェストの実績の少ない方で契約変更するものとする。
計算式 排水量V=0.023×t×L （t：舗装厚（m）、L：切断延長（m））

※舗装版の種類は、アスファルト及びコンクリートを問わない。

なお、適正な処理の実施に際して、排水を脱水処理することができる場合等は、協議の上、当該排水の運搬処理費の削除等について契約変更できるものとする。

5. 工事支障物件

(1) 試掘調査

1) 試掘調査

ア 受注者は、掘削影響範囲内の公益占用物件の埋設位置の確認のため、本工事の施工に先立ち、次のとおり試掘調査を行うものとする。

なお、詳細な掘削箇所及び掘削範囲については、監督職員と協議のうえ、決定するものとし、契約変更の対象とする。

イ 試掘調査は、原則人力施工とし、発生土等の運搬車積み込み作業は、機械施工とする。

ウ 埋設位置、深さ等を確認するため、監督職員を経由して、公益占用物件所有者等に立会を求めるものとする。

2) 調査計画書（試掘調査を含む。）

受注者は、事前に監督職員から提供のあった公益占用物件台帳等を基に、事前調査を実施し、公益占用物件の実態を把握するとともに、試掘調査の必要性を含め、監督職員と協議のうえ、掘削箇所及び調査方法等（安全管理等を含む。）を記載した試掘調査計画書を提出するものとする。

3) 試掘調査報告書

受注者は、試掘調査実施後に埋設位置、深さ等を報告するものとし、公益占用物件に防護対策等の安全処置が必要となるときは、監督職員及び公益占用物件所有者等と協議し、その対策及び維持管理方法についても記載するものとする。

試掘箇所(区間)	試掘箇所数	備考
Aルート起点	1	W=1.0m L=2.0m H=1.2m /箇所
Bルート起点	1	W=1.0m L=2.0m H=1.2m /箇所
ANo. 1+13.74	1	W=1.0m L=1.0m H=1.0m /箇所

6. その他

(1) 部分使用

本工事においては、通水試験(水圧試験)及び水道技術管理補助者の検査に合格後、部分的に使用したいので使用できる状態とすること。

(2) 給水要望事業

本工事は、給水要望に基づき配水管を布設するものである。そのため、本工事で布設する配水管沿線の家屋へ工事着手前に給水工事の確認を行いその結果を監督職員へ提出すること。

なお、行き止まり管路については、給水要望の家屋から「給水申請書」が提出されてから工事に着手すること。

(3) 工事中の安全確保

地下埋設物等の調査結果、必要であれば監督職員と協議の上、試掘を行い、地下埋設物の位置等を確認すること。試掘調査の結果、地下埋設物件等が支障となる場合は、対応方法について監督職員と協議すること。

(4) 施工時期及び施工時間の変更

休日・夜間作業届については、FAX・メール・工程会議等で、監督職員・請負者双方が、「作業日及び作業時間」「作業場所」「作業理由」「作業内容」について把握していれば、改めて提出しなくてよいものとする。

(5) 水圧試験

本工事において、監督職員が指示する期日までに以下の通水試験（水圧試験）を行い合格すること。

・水道配水用ポリエチレン管

管路の水圧を0.75MPaに上昇させ、5分間放置する。

5分間放置後、水圧を0.75MPaまで再加圧する。

再加圧後、すぐに水圧を0.50MPaまで減圧し、そのまま放置する。

放置してから、24時間後の水圧が0.30MPa以上であること（PEPの場合）

・水道給水用高密度ポリエチレン管

融着接合が終了し、冷却時間経過後、水圧試験待ち時間が経過するまでは、通水してはいけない。

水圧試験待ち時間は、EF継手がφ30mm未満で20分以上、φ30mm以上φ50mm以下で30分以上、EFサドル部で30分以上とする。

予圧として、管路の水圧を0.75MPaに昇圧して、3分以上保持する。次に、管路の水圧を0.75MPaに昇圧させ、10分間放置する。放置してから10分後の水圧が0.60MPa以上（圧力低下率内）であること。

(6) 工事の施工について【配水管】

- ①工事着手前に近隣住民に工事の通知を行うこと。また、施工にあたっては道路使用の許可条件を遵守し、工事看板等の安全施設を設置すること。
- ②配水管と他の構造物との離隔は、布設の管種・口径に関わらず、管外面から地下埋設物外面間の離隔を交差・並列ともに、離隔を30cm以上確保することとし、離隔を30cm以上確保できない場合には、監督職員と協議すること。
- ③施工時に現場と設計に相違があることが判明した場合は、監督職員に報告し、指示を仰ぐこと。また、設計変更が生じる場合は、監督職員と協議すること。
- ④床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は床付面より10cm以上取り除き、砂等に置き換えること。
- ⑤仮復旧は管布設後、当日中に施工すること。
- ⑥工事の施工範囲内に境界標等が設置されていないか事前調査を行い、その結果を現地調査報告書に合わせて監督職員へ報告すること。また、工事の施工により境界標等へ影響が生じる場合は、その復元方法等を監督職員と協議すること。
- ⑦現場発生品は清掃及び切管部及び損傷部の補修をした後、監督職員の指示する場所に納品すること。
- ⑧管理設シートは、極力切断せずに埋設すること。やむを得ず切断した場合は、1m以上重ね合わせること。
- ⑨ポリエチレンスリーブは土中でのダクタイル鋳鉄管の腐食に対するものであるため、接続部については継手部の凹凸等になじむようにたるませて確実に重ね合わせること。

(7) 工事の施工について【給水管（水道用ポリエチレン二層管）】

- ①給水管分岐替工は広島県水道広域連合企業団指定給水装置工事事業者の指定を受けている者で施工すること。
- ②受注者は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が貸与する給水装置工事竣工図等により、現地で既設止水栓の位置を確認、分岐替位置について検討し工事を行うこと。
- ③受注者は給水管分岐替工事施工前に、水道使用者へ対し、施工予定日、断水時間等を説明すること。また、施工後においても水道使用者へ工事完了の通知を行うこと。
- ④受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。
- ⑤受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼさないよう細心の注意をして施工すること。
- ⑥受注者は、現場状況により、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。

- ⑦給水管分岐替工の写真管理（給水管布設完了、本管分岐位置、水圧試験、切片確認、コア挿入前後（DIPの場合）、防食フィルム取付完了）については全箇所行うこと。また、給水管布設状況、穿孔状況、土工事一連写真については10箇所1箇所の割合で撮影すること。
 - ⑧給水管洗管状況は5箇所に1箇所の割合で写真撮影を行い、その他は広島県水道広域連合企業団東広島事務所が定める「給水管分岐替工チェックリスト」により確認を行うこと。
 - ⑨給水管分岐替工の水圧試験は、給水装置の分岐位置から新設する給水管を含めて行うこと。
 - ⑩給水管分岐替において、分岐替え作業後、量水器を取外して十分洗管し、濁り・切粉・ゴミが無いことを確認すること。また出水不足等の苦情があった場合は、受注者の責により速やかに対応すること。
- (8) 耐震補強金具の施工について
- ①準備

取り付け前には、取り付け部分の砂・錆を落とし清掃を行い、フランジ部が健全であることを確認すること。
 - ②取り付け

取付方法については、施工手順や締付トルク等について施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得てから施工すること。
 - ③チェックシートによる品質管理

受注者は、フランジ耐震補強金具取付にあたり、チェックシートを作成し、施工管理すること。チェックシート（チェック項目）については、監督職員の承諾を得ること。
- (9) 水道技術管理補助者検査について
- ①給水管分岐替工等で、管路の部分使用（配水開始）をする場合、原則として事前に通水試験（水圧試験）及び水道技術管理補助者検査に合格すること。
 - ②設計図書以外の給水分岐工事に着手する際は、原則として事前に通水試験（水圧試験）及び水道技術管理補助者検査に合格すること。
 - ③工事が完成した時は、水道技術管理補助者による検査を受検すること。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

- (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和6年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	測点間隔につき1箇所		

- (2) 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

2. 品質管理

- (1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

第5章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳を1部提出する。

耐震補強継手工の写真管理に関する工種・撮影項目・撮影頻度等は次のとおりとする。

(区分)	(工種)	(撮影項目・頻度)
	フランジ耐震補強金具取付工-取付前清掃状況	・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-取付前清掃完了	・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-フランジ耐震補強金具取付状況	・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-トルクレンチ締付状況	・・・10箇所に1箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-ボルトナット交換状況	・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-フランジ耐震補強金具取付完了	・・・全箇所
	フランジ耐震補強金具取付工-ポリスリーブ被覆工	・・・全箇所

※全ての継手について、構造物からの離れ及び深さ等が明確となるように継手位置を撮影すること。

※土工関連写真と本管布設位置及び、耐震補強金具取付関連写真は分冊し、現場作業が完了後、速やかに提出すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 提出書類

- (1) 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。
- (2) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし、週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。
工事日報の提出にあたっては、施工部分の継手チェックシートを添付すること。
なお、工事日報及び継手チェックシートには任意のNoを設け相互にリンクさせること。
- (3) 最初の測点で撮影した土工及び管布設工の写真を仮工事写真として施工後、速やかに提出し、監督職員の確認を受けること。
- (4) 納品書（写し）又は出荷証明書（原本）は集計表を添付して提出すること。
- (5) 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表、品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。また、横断図には占用位置として、官民境界又は構造物からの離隔を記入すること。
- (6) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、横断図は測点ごとに作成し、延長が50m未満の場合は、監督職員が指示する箇所において作成すること。
- (7) 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い、現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路(水道)		式		1	レベル1
φ50管布設工 (PEP)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		180	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m2		55	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式		1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 RC-40	m2		55	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 RM-30	m2		55	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライムコートなし 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	式		1	レベル4
殻運搬処理	バックホ排出対策型 As	m3		3	レベル4
発生土処理	バックホ排出対策型 建設発生土	式		1	レベル4
伏越工及び土留工		式		1	レベル3
伏越工		式		1	レベル4
舗装本復旧工【PEP φ50】		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		110	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装本復旧工【仮復旧部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2		61	レベル4
舗装本復旧工【影響部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2		45	レベル4
アスファルト殻処分費	再資源化施設	m3		4	レベル4
残土受入費		m3		1	レベル4
φ50管布設工（PEP）		式		1	レベル3
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管)	PEP φ50×5000	本		18	レベル4
EF片受バンド	PEP φ50×45°	個		11	レベル4
EFバンド	PEP φ50×45°	個		7	レベル4
水道配水用ホリシリン管継手	PE挿し口付鋳鉄製フランジ短管 7.5K GF形 φ50	個		2	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	m		91.4	レベル4
ポリエチレン管据付工	φ50	m		89.3	レベル4
ポリエチレン管（融着接合）継手工	φ50	口		43	レベル4
ポリエチレン管切断	φ50	口		11	レベル4
仕切弁設置工	50-PE両フランジ-1.2(耐震補強金具含む) 不断水割丁字管設置含む	箇所		2	レベル4
仕切弁設置工	50-PE両挿-0.8	箇所		2	レベル4
ホリシリンスリーブ被覆工	φ50【材工共】	m		4.0	レベル4
管埋設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m		90.7	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径φ4.4mm【材工共】	m		91.4	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
φ 50排水管設置工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		2	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m2		1	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式		1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 RC-40	m2		1	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 RM-30	m2		1	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライムコートなし 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	式		1	レベル4
殻運搬処理	バックホ排出対策型 As	m3		0.03	レベル4
発生土処理	バックホ排出対策型 建設発生土	式		1	レベル4
φ 50排水管布設工		式		1	レベル3
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP-TS φ 50	m		13.9	レベル4
HIエルボ	HIVP φ 50	個		9	レベル4
HIソケット	φ 50 (TS)	個		2	レベル4
メカニカルソケット (インナーコアなし)	φ 50_PEP×塩ビ インナーコア無し	個		2	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	m		13.9	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
塩ビ管据付工	φ 50	m		13.9	レベル4
塩ビ管（TS）継手工	φ 50	□		20	レベル4
硬質塩化ビニル管切断	φ 50	□		9	レベル4
鋳鉄継手工（メカニカル形）	VP φ 50	□		2	レベル4
ポリエチレン管（メカニカル継手）布設	φ 50	□		2	レベル4
管埋設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m		11.6	レベル4
ポリエンスリーブ被覆工	φ 50【材工共】	m		2.0	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 φ 4.4mm【材工共】	m		13.9	レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工		箇所		2	レベル4
給水分岐替工		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		17	レベル4
舗装版切断	コンクリート舗装版	m		3	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m2		5	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下 コンクリート舗装版	m2		1	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
真砂詰工	B < 1.0 バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
下層路盤	仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 RC-40	m2		5	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 RM-30	m2		5	レベル4
上層路盤	仕上り厚10cm,施工幅 1.8m未満 RC-30	m2		1	レベル4
仮復旧	t=3cm,フライムコートなし 締固め後密度 2.35 t/m3	式		1	レベル4
殻運搬処理	バックホウ排出対策型 As	m3		0.2	レベル4
殻運搬処理	バックホウ排出対策型 Co	m3		0.1	レベル4
発生土処理	バックホウ排出対策型 建設発生土	式		1	レベル4
舗装本復旧工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		12	レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2		5	レベル4
舗装本復旧工【影響部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2		2	レベル4
舗装本復旧工	18N、t=10cm 18-8-40BB	m2		1	レベル4
アスファルト殻処分費	再資源化施設	m3		0.3	レベル4
残土受入費		m3		0.1	レベル4
給水分岐替工		式		1	レベル3
水道用ホリシソ二層管	PE50 1種 φ25	m		9.4	レベル4
ホリ式サソル分水栓	PEP用（鋳鉄製、分止水栓用ソケット付） φ50×φ25	組		1	レベル4
PE用ソケット（砲金製）	φ25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	個		6	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
PE用ソケット（砲金製）	φ 25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	個		1	レベル4
PEキャップ	φ 25 パイプエンド	個		3	レベル4
分水栓用閉栓キャップ	φ 25	個		1	レベル4
ポリエチレン管据付工	φ 25	m		9.4	レベル4
サドル分水栓設置工	ポリエチレン管 φ 50 給水管 φ 25	箇所		1	レベル4
ポリエチレン管継手工	φ 25	口		17	レベル4
小口径管ねじ込み接合	φ 25	口		1	レベル4
ポリエチレン管切断	φ 25	口		8	レベル4
止水栓設置工	25-両挿-0.4 PE挿し口付ポリル止水栓（JIS外径準拠）	箇所		1	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式【材工共】	m		9.0	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 φ 4.4mm【材工共】	m		9.4	レベル4
給水洗管工	φ 25	箇所		1	レベル4
止水栓撤去工	φ 25	箇所		1	レベル4
舗装版切断排水		式		1	レベル2
舗装版切断排水		式		1	レベル3
舗装版切断排水処理	舗装版切断排水	m3		0.3	レベル4
交通管理工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通誘導警備員		人		21	レベル4
直接工事費					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費（試掘工）		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m		16	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m2		5	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホ 排出対策型	式		1	レベル4
管路埋戻	バックホ排出対策型 購入土	式		1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 RC-40	m2		5	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 RM-30	m2		5	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライムコートなし 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	式		1	レベル4
殻運搬処理	バックホ排出対策型 As	m3		0.3	レベル4
発生土処理	バックホ排出対策型 建設発生土	式		1	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3

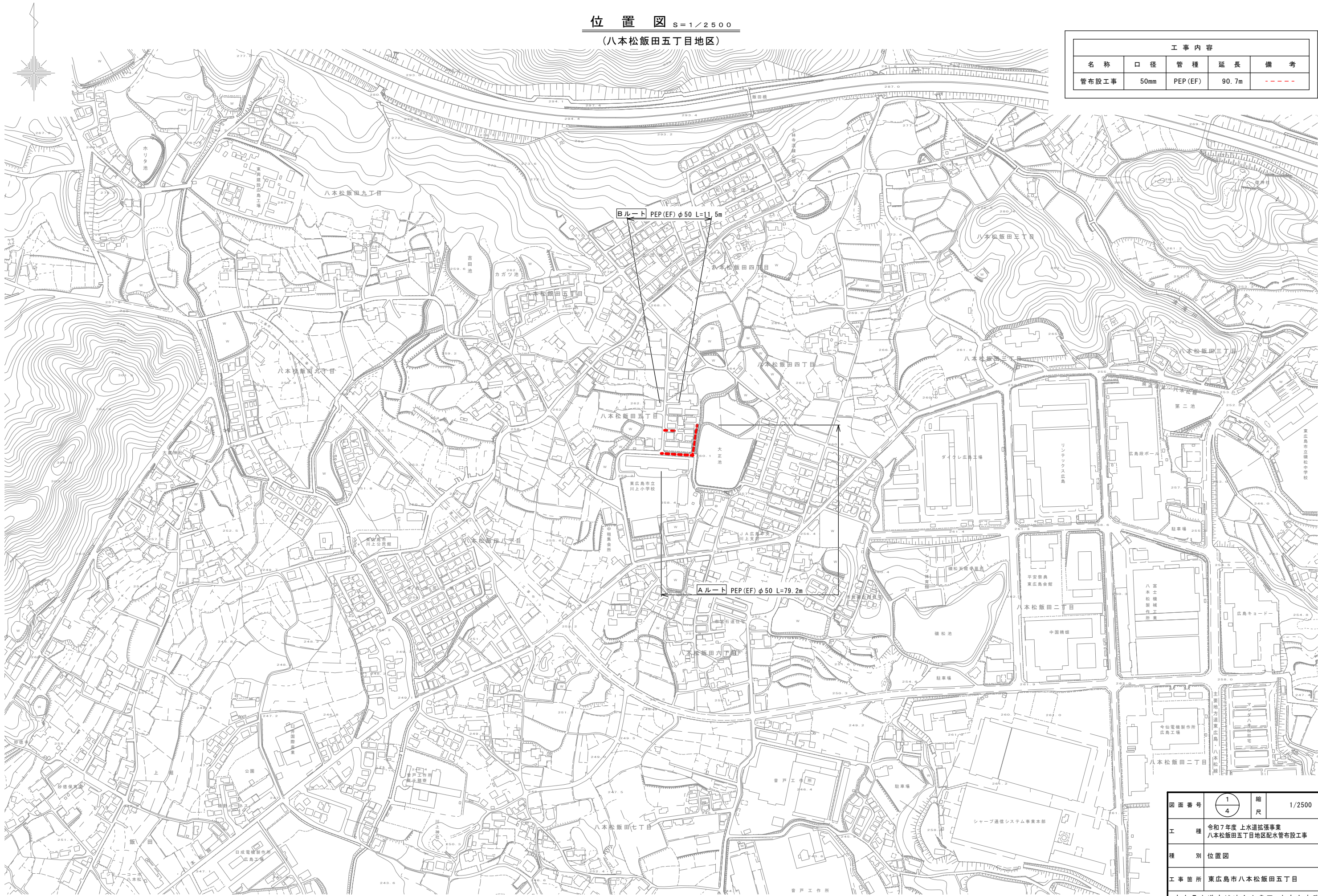
工事数量総括表

頁0 -0008

[illegible]

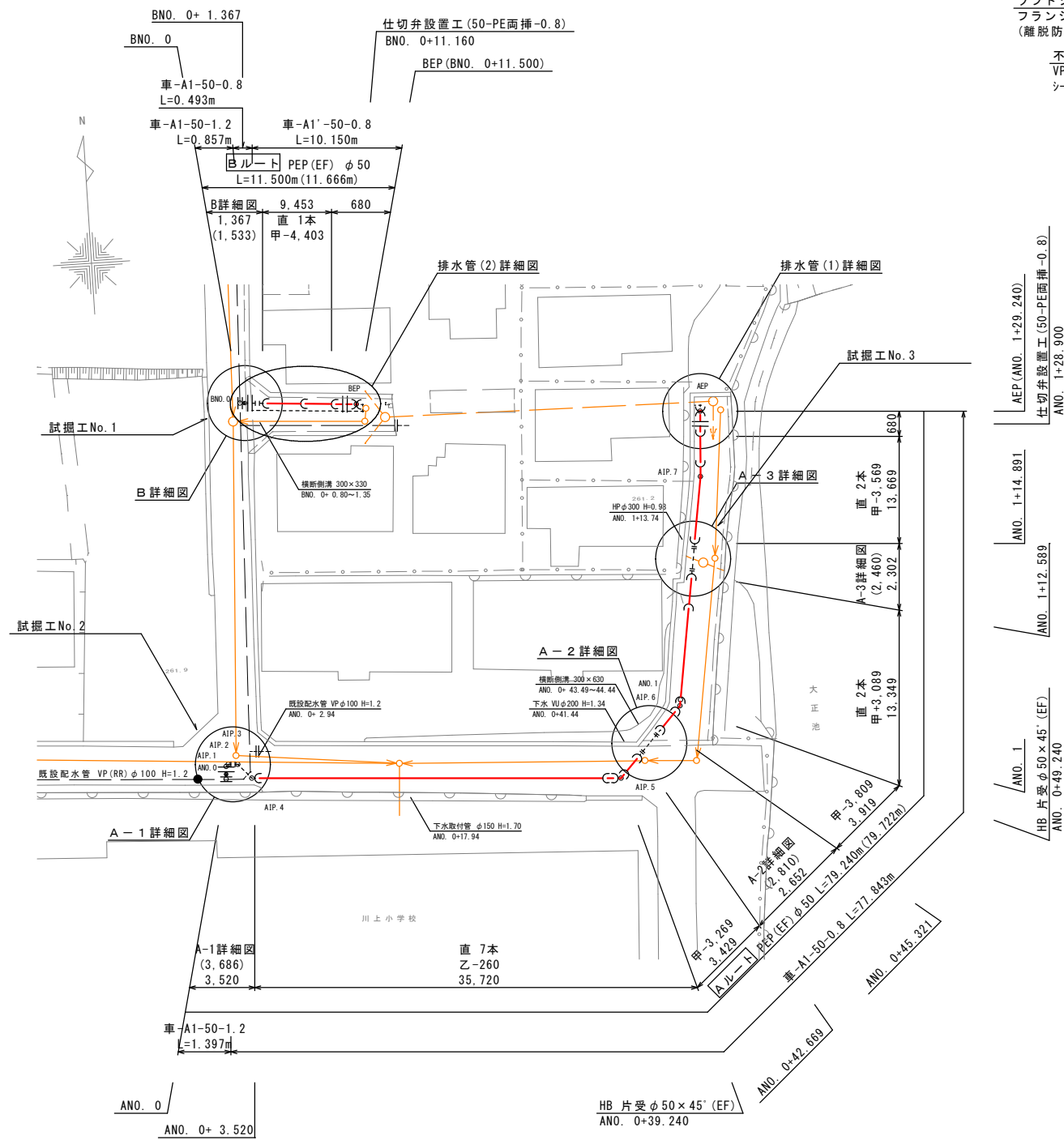
位置図 S=1/2500
(八本松飯田五丁目地区)

工事内容				
名称	口径	管種	延長	備考
管布設工事	50mm	PEP(EF)	90.7m	-----

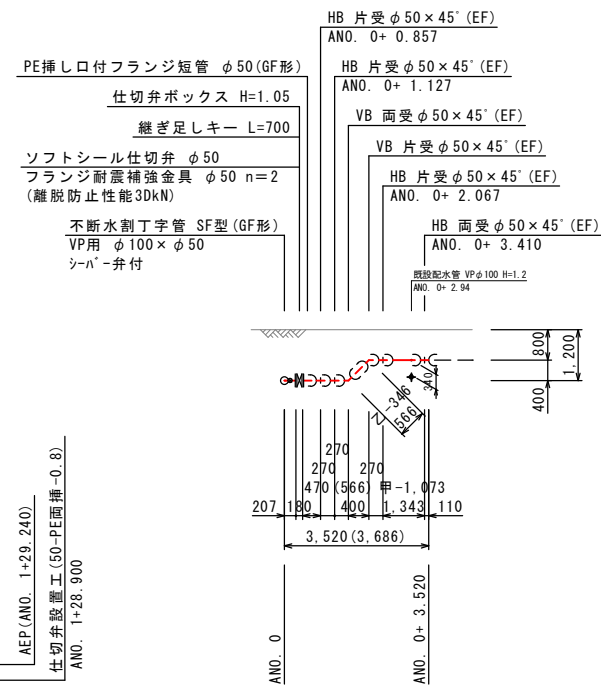


図面番号	1 4	縮尺	1/2500
工種	令和7年度 水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事		
種別	位置図		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

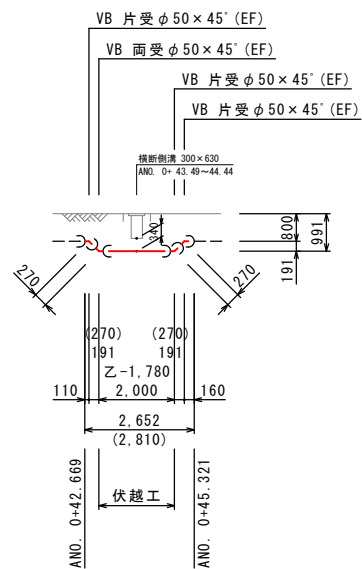
平面図 S=1/300



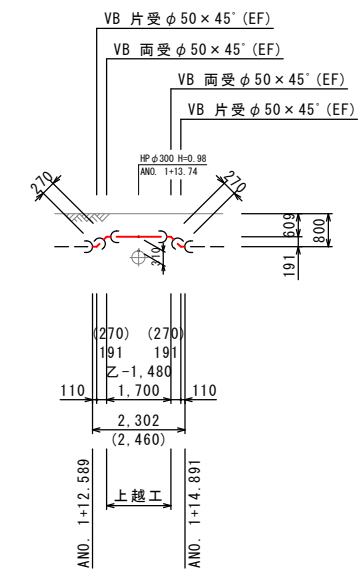
A-1 詳細図 S=1/100



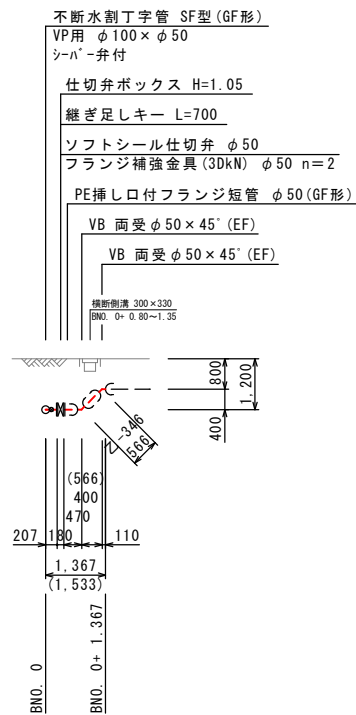
A-2 詳細図 S=1/100



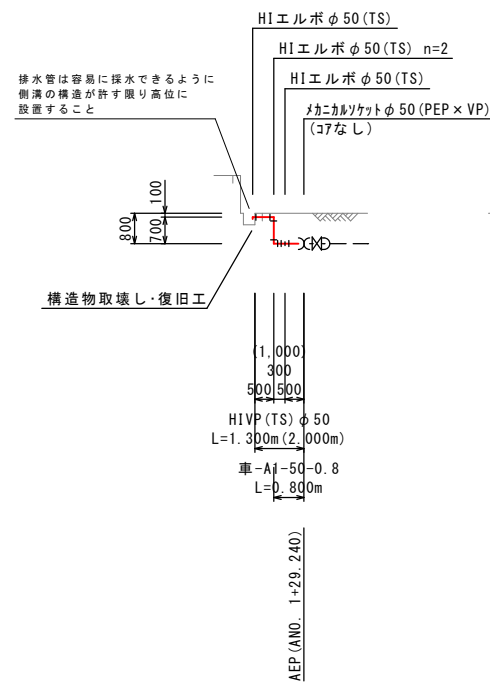
A-3 詳細図 S=1/100



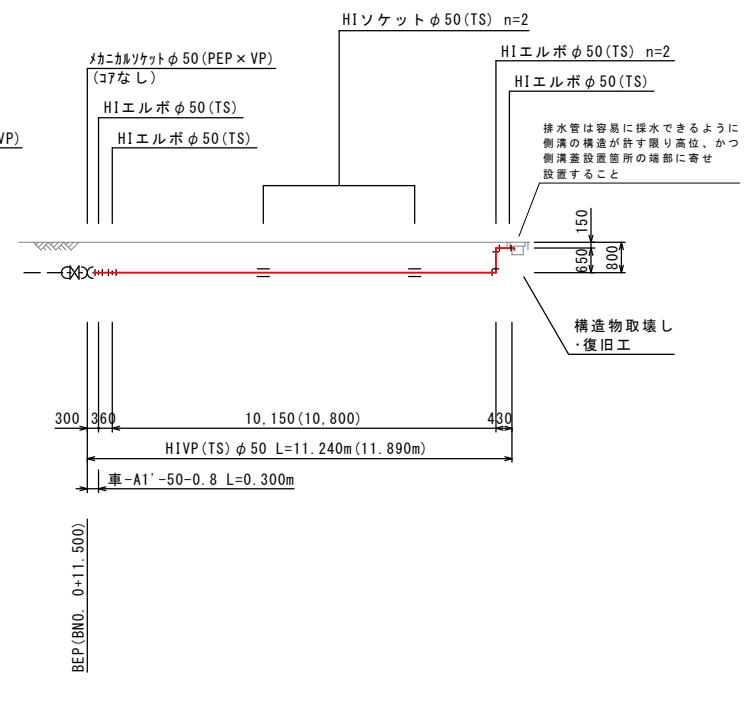
B 詳細図 S=1/100



排水管(1) 詳細図 S=1/100



排水管(2) 詳細図 S=1/100

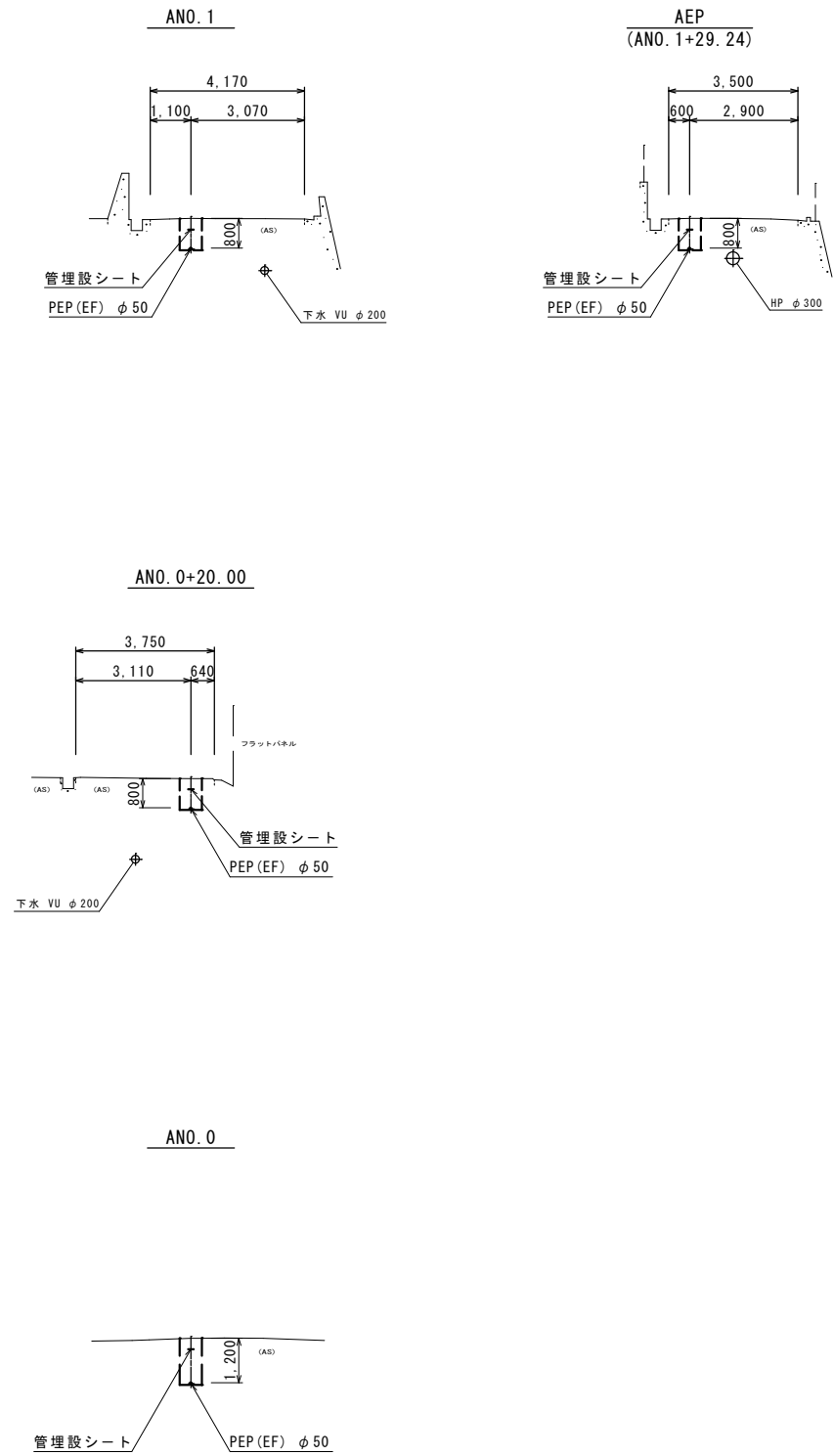


設計水圧
PEP 0.69MPa
フランジ 7.5K仕様

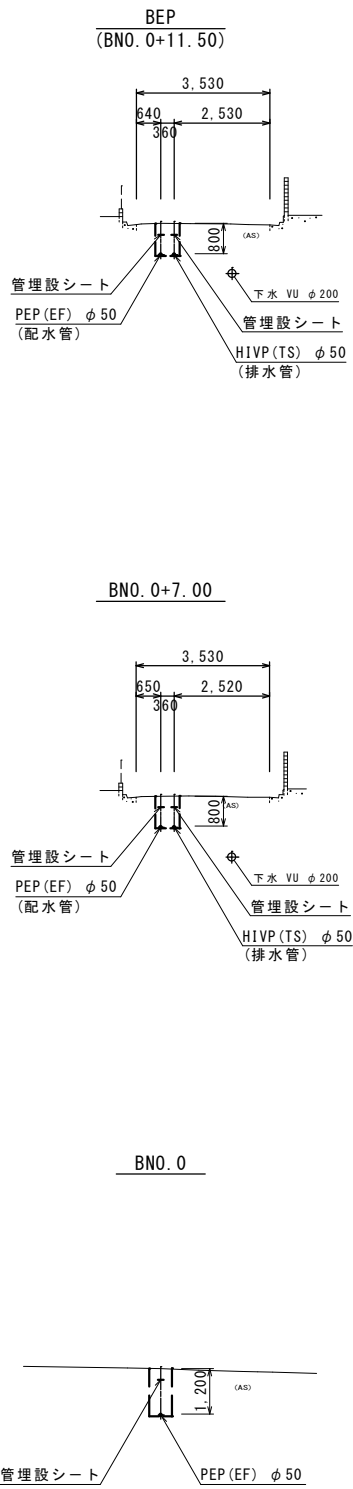
図面番号	2 4	縮尺	図示
工種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事		
種別	平面図 詳細図		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

横断図 S=1／100

Aルート

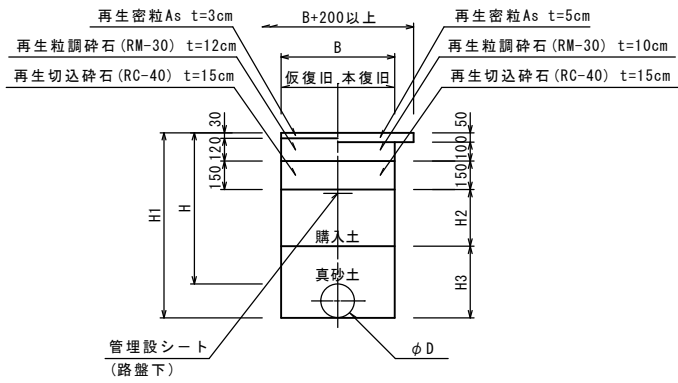


Bルート

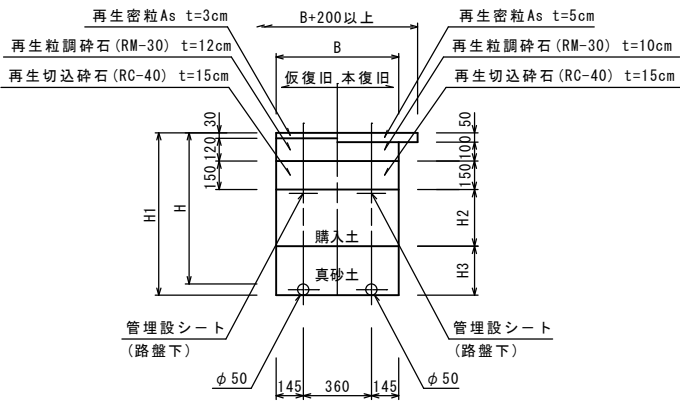


標準床掘断面図 S=1／20

車-A1-D-H



車-A1'-50-0.8

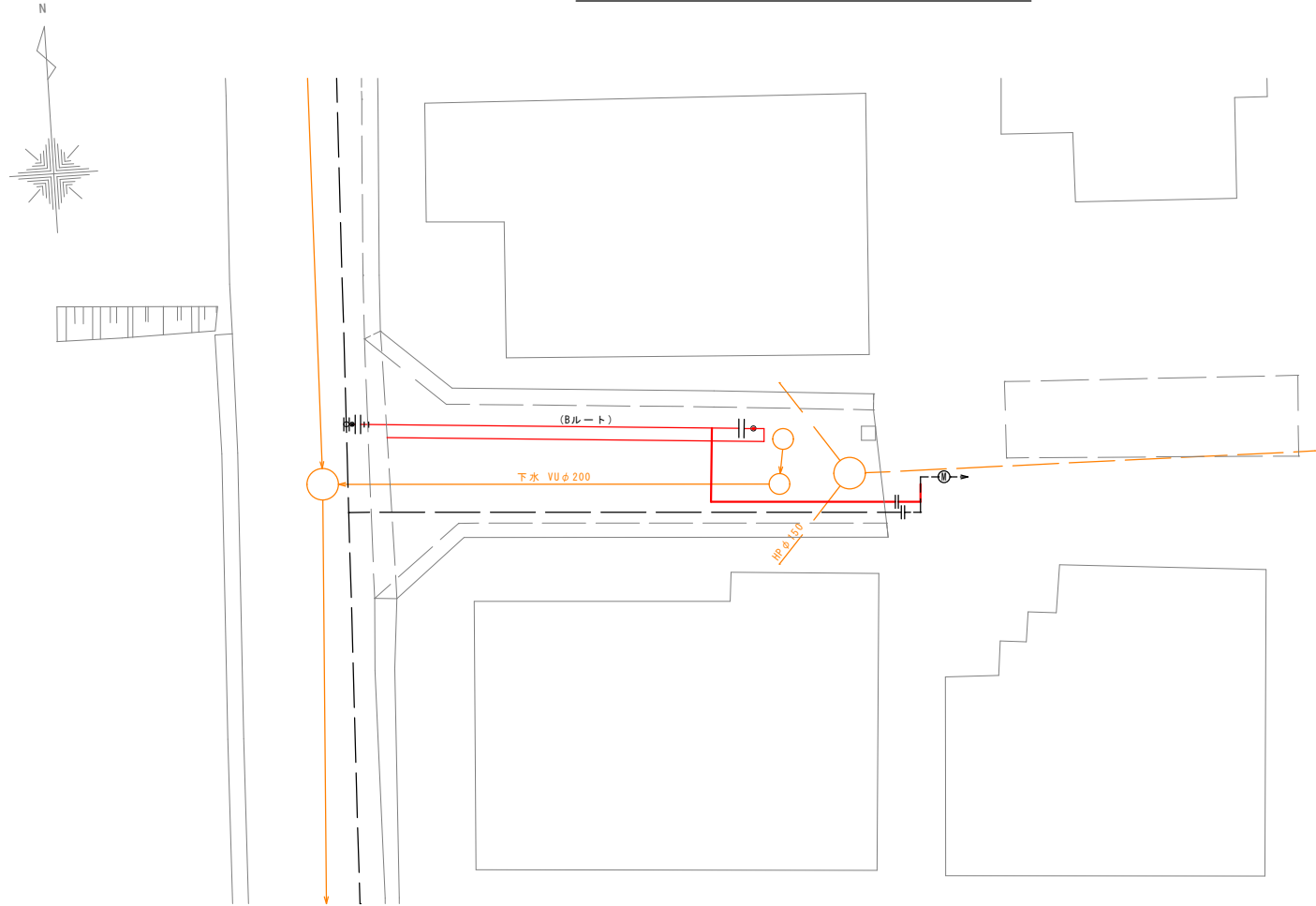


記 号	D	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1- 50-0.8	50	800	860	300	260	
車-A1- 50-1.2	50	1200	1260	700	260	

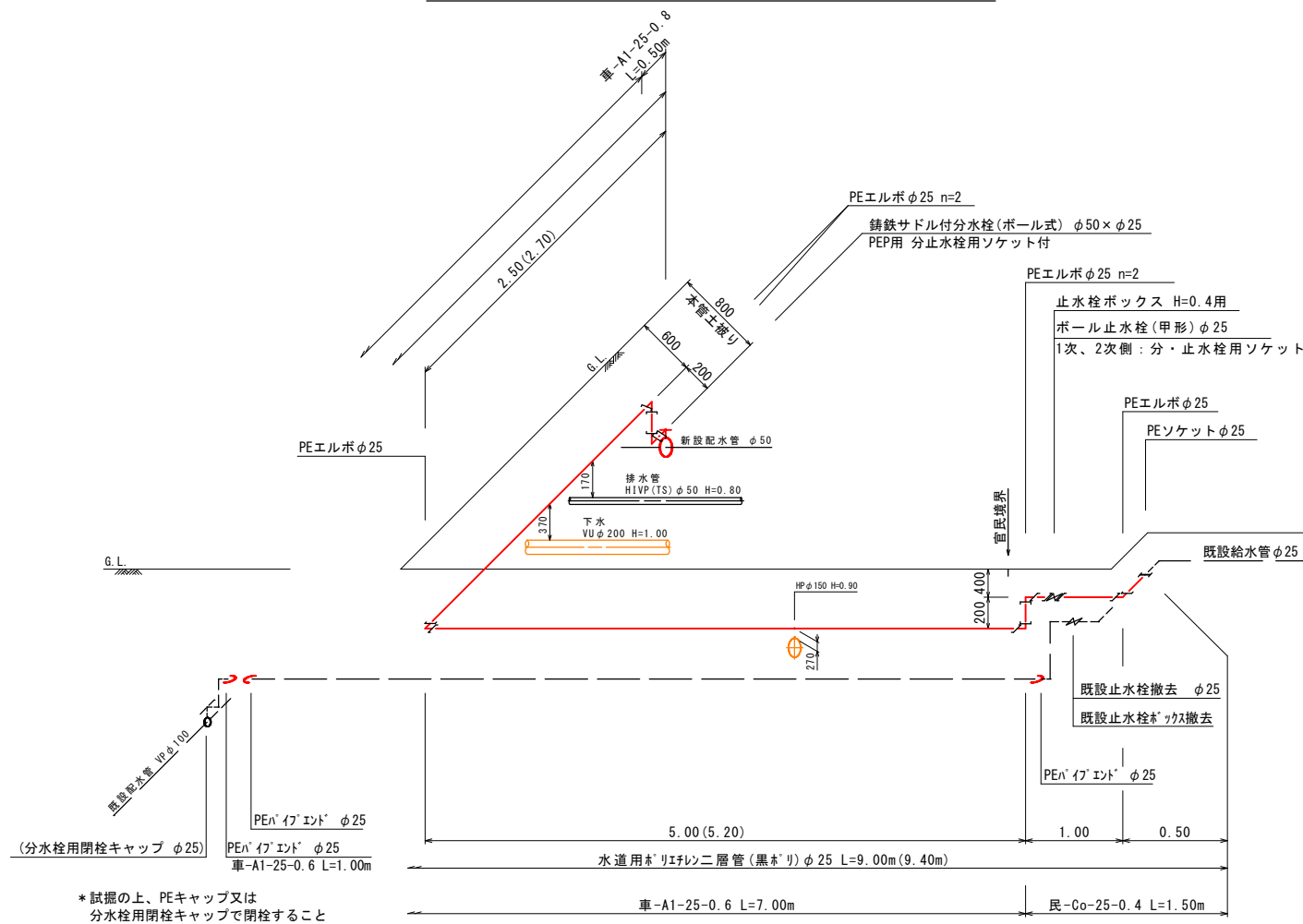
記 号	D	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1'- 50-0.8	50	800	860	300	260	

図面番号	3 4	縮尺	図示
工種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事		
種別	横断図・標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

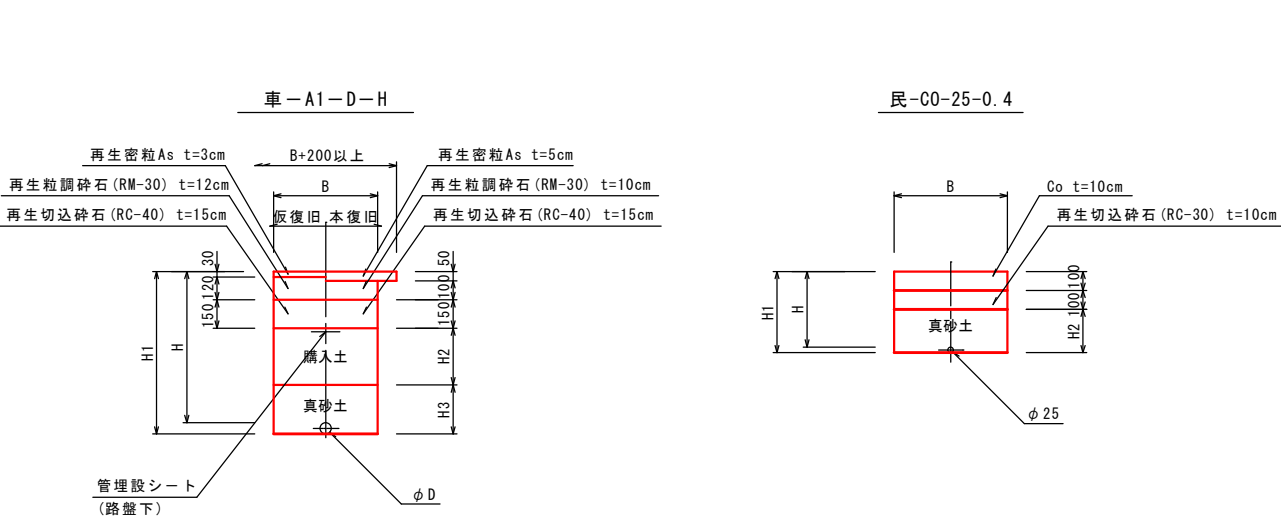
給水管平面図 S=1／100



給水管分岐替工参考図 S=FREE



給水管床掘標準断面図 S=1／20



給水管分岐替工数量表

本管 口径	宅地 NO.	鉄鉄サドル付分水栓 (S-4式)	閉栓キャップ 分・止水栓用継手 (WSA規格)	PE	PE エルボ (WSA規格)	PE ソケット (WSA規格)	PE パイプエンド	止水栓BOX (樹脂製)	止水栓設置工 (1次側:分・止水栓用ナット 2次側:分・止水栓用ナット)	既設止水栓撤去	既設止水栓BOX撤去	H	H1	管理設シート	分岐管 管径	土工延長			備 考
		φ50×φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	H=400			(m)	(m)	車-A1-25-0.8	車-A1-25-0.6	民-C0-25-0.4	
φ50	1	1	1	9.00 (9.40)	6	1	3	1	1	1	1	0.80	0.40	7.50	7.90	0.50	7.00	1.50	
	計	1	1	9.00 (9.40)	6	1	3	1	1	1	1			7.50	7.90	0.50	7.00	1.50	

※PE金属継手は、耐震性能強化型(WSA規格)を使用すること。

記 号	D	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1-25-0.6	25	600	630	100	230	
車-A1-25-0.8	25	800	830	300	230	

記 号	D	H	H1	H2	備 考
民-C0-25-0.4	25	400	430	200	

図面番号	縮尺	図示
工 種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事	
種 別	給水管平面図・給水管分岐替工参考図 給水管床掘標準断面図	
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

参 考 図 書

工事名称 : 令和 7 年度 上水道拡張事業
八本松飯田五丁目地区配水管布設工事

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書及び設計書情報は適正な積算（見積り）のための参考指標として数量及び適用年月日等を示すものです。数量及び適用年月日等は参考であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。
- 3 本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか
広島県水道広域連合企業団制定『広島県水道広域連合企業団 設計・施工指針（施工指針編）』
同 『広島県水道広域連合企業団 設計・施工指針（配管標準図集）』
同 『土工断面工事写真撮影例』
同 『立会・段階確認項目一覧表』 に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます

事業者の皆様 / 東広島事務所 / 広島県水道広域連合企業団 東広島事務所 設計・施工指針
（広島県水道広域連合企業団 工務課でも CD を貸し出ししております。）

4 その他

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	カワモトリサイクルセンター	東広島市志和町内字塚土山 10001	7.2km

- ・当該工事により発生するA s 殻、C o 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	安芸アスコン(株)瀬野川合材工場	広島市安芸区上瀬野甲 1-2	7.2km
Co 殻	(株)スナダ	東広島市志和町七条柁坂 10488-160	7.7km

- ・当該工事により発生する建設汚泥は、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設汚泥	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	16.1km

総括情報表

頁0 -0001

			凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-07.06.01(0)		
諸経費体系	N 水道(R02.01～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 I C T補正区分 施工地域補正区分 週休補正区分 復興補正区分 現場環境改善費区分 緊急工事区分 積雪寒冷地区分 契約保証区分 前払金支出割合区分	01 開削及小口径推進工事等 00 補正なし 03 一般交通影響あり 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 率分額計上しない 00 通常工事 0 % 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X2000
管路(水道)					Y1K01 レベル1
φ50管布設工 (PEP)	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	180	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	180	m			SPK24040306 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	55	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	55	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 バックホウ 排出対策型	46	m3			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	46	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 B<1.0 ハック杓 排出対策型	14	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	14	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	17	m3			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	17	m3			VSW111013 00 単第0 -0008 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 RC-40	55	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	55	m2			SQZ10 00 単第0 -0009 表
上層路盤 仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 RM-30	55	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	55	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧 t=3cm,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄなし 締固め後密度 2.35t/m3	55	m2			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	55	m2			SQ000017 00 単第0 -0012 表
殻運搬処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 AS	3	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) AS	3	m3			VSW608014 00 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)	3	m3			F2000 00
発生土処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 建設発生土	46	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) 砂質土	46	m3			VSW605013 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(受入地)					F1000 00
カワモトリサイクルセンター	46	m3			
伏越工及び土留工	1	式			Y3999 レベル3
伏越工	2.0	m			Y4999 レベル4
伏越工	2.0	m			VSW001 00
舗装本復旧工【PEP φ 50】	1	式			単第0 -0024 表 Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	110	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	110	m			SPK24040306 00 単第0 -0001 表
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	61	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒13、t=5cm;人力、プライムコート As(2.35)	61	m2			VSW2020133 00 単第0 -0026 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装本復旧工【影響部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	45	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【影響部】 再生密粒13、t=5cm;人力、プライムコート As(2.35)	45	m2			VSW2020134 00 単第0 -0029 表
アスファルト殻処分費 再資源化施設	4	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)	4	m3			F2000 00
残土受入費	1	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(受入地) カワモトリサイクルセンター	1	m3			F1000 00
φ50管布設工 (PEP)	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用ポリエチレン管(EF受口付直管) PEP φ50×5000	18	本			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管 片受タイプ φ50×5.0M	18	本			TQ000123 00
EF片受ベンド PEP φ50×45°	11	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリエチレン管継手 EF45°ベンド 片受タイプ φ50	11	個			TQ000193 00
EFベンド PEP φ50×45°	7	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用ポリエチレン管継手 EF45°ベンド 両受タイプ φ50	7	個			TQ000153 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道配水用 [※] リレフ管継手 PE挿し口付 鑄鉄製フランジ 短管 7.5K GF形 φ50	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道配水用 [※] リレフ管継手 PE挿し口付 鑄鉄製フランジ 短管 7.5K GF形 φ50	2	個			THSFA003154 00 ガasket含む
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	91.4	m			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	91.4	m			TQ100001 00
ポリエチレン管据付工 φ50	89.3	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 50mm	89.3	m			SQ105 00 単第0 -0030 表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 φ50	43	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工 φ50	43	口			VPE10050 00 単第0 -0031 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管切断 φ 50	11	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 5 0 mm	11	口			SQ110 00 単第0 -0033 表
仕切弁設置工 50-PE両フランジ -1.2(耐震補強金具含む) 不断水割丁字管設置含む	2	箇所			Y4999 レベル4
不断水穿孔工 φ 100 × φ 50	2	箇所			VSQ5001001 00 単第0 -0034 表
仕切弁設置工 50-PE両フランジ -1.2 東広島市型	2	箇所			VSW72005031 00 単第0 -0036 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 φ 50 , 土被り 1.20 , 高さ 1.05 東広島市型	2	箇所			VSΒ1000503 00 単第0 -0040 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工 (管材費) 50-PE両フランジ -1.2 東広島市型	2	箇所			VSW72005032 00 単第0 -0041 表
仕切弁設置工 50-PE両挿-0.8	2	箇所			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁設置工 50-PE両挿-0.8 東広島市型	2	箇所			VSW72005011 00 単第0 -0042 表
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 φ50, 土被り 0.80, 高さ 0.65 東広島市型	2	箇所			VSΒ1000501 00 単第0 -0043 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
仕切弁設置工(管材費) 50-PE両挿-0.8 東広島市型	2	箇所			VSW72005012 00 単第0 -0044 表
ホリシリンズ被覆工 φ50【材工共】	4.0	m			Y4999 レベル4
ホリシリンズ被覆工 φ50【材工共】	4.0	m			VSE400050 00 単第0 -0045 表
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	90.7	m			Y4999 レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	90.7	m			VSE500 00 単第0 -0046 表
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径 φ4.4mm【材工共】	91.4	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシングワイヤ設置工 被覆外径φ4.4mm【材工共】	91.4	m			VSE700 00 単第0 -0048 表
φ50排水管設置工	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	2	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	2	m			SPK24040306 00 単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	1	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	1	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
管路掘削 バックホウ 排出対策型	1	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	1	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
真砂詰工 B<1.0 ハック杓 排出対策型	0.2	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	0.2	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	0.2	m3			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	0.2	m3			VSW111013 00 単第0 -0008 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 RC-40	1	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	1	m2			SQZ10 00 単第0 -0009 表
上層路盤 仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 RM-30	1	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	1	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	1	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	1	m2			SQ000017 00 単第0 -0012 表
殻運搬処理 バックホウ排出対策型 AS	0.03	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) AS	0.03	m3			VSW608014 00 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)	0.03	m3			F2000 00
発生土処理 バックホウ排出対策型 建設発生土	1	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) 砂質土	1	m3			VSW605013 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(受入地) カワモトリサイクルセンター	1	m3			F1000 00

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
φ 50排水管布設工					Y3999 レベル3
	1	式			
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS φ 50					Y4999 レベル4
	13.9	m			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP-TS φ 50					F0003 00
	13.9	m			
HIエルボ HIVP φ 50					Y4999 レベル4
	9	個			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 90°エルボ HITS継手 φ 50					TQ001697 00
	9	個			
HIソケット φ 50 (TS)					Y4999 レベル4
	2	個			
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手 ソケット HITS継手 φ50	2	個			TQ001647 00
メカニカルソケット（インナーコアなし） φ50_PEP×塩ビ インナー無し	2	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
メカニカルソケット φ50 PEP×塩ビ インナー無し	2	個			THSFA002337 00 排水管用
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	13.9	m			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	13.9	m			TQ100001 00
塩ビ管据付工 φ50	13.9	m			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50mm	13.9	m			SQ100 00
塩ビ管（TS）継手工 φ50	20	口			単第0 -0049 表 Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 50mm TS継手	20	□			SQ101 00 単第0 -0050 表
硬質塩化ビニル管切断 φ50	9	□			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 50mm	9	□			SQ110 00 単第0 -0051 表
鋳鉄継手工（メカニカル形） VP φ50	2	□			Y4999 レベル4
鋳鉄継手工（メカニカル形） φ50-φ100 メカニカル等	2	□			VSE10101 00 単第0 -0052 表
ポリエチレン管（メカニカル継手）布設 φ50	2	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管（メカニカル継手）布設 呼び径 50mm	2	□			SQ000035 00 単第0 -0053 表
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	11.6	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色：青,文字色：白	11.6	m			VSE500 00 単第0 -0046 表

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ホリシリンスリーブ被覆工 φ50【材工共】	2.0	m			Y4999 レベル4
ホリシリンスリーブ被覆工 φ50【材工共】	2.0	m			VSE400050 00 単第0 -0045 表
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径φ4.4mm【材工共】	13.9	m			Y4999 レベル4
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径φ4.4mm【材工共】	13.9	m			VSE700 00 単第0 -0048 表
コンクリート等取り壊し復旧工	2	箇所			Y4999 レベル4
コンクリート等取り壊し復旧工 コンクリート 150*150*100	2	箇所			VSW300 00 単第0 -0054 表
給水分岐替工	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	17	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	17	m			SPK24040306 00 単第0 -0001 表
舗装版切断 コンクリート舗装版	3	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	3	m			SPK24040306 00 単第0 -0057 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	5	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	5	m2			SQ004 00 単第0 -0002 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 コンクリート舗装版	1	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 コンクリート舗装 t=10cm	1	m2			V0000000007 00 単第0 -0058 表
管路掘削 バックホ 排出対策型	3	m3			Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	3	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
真砂詰工 B<1.0 ハック杓 排出対策型	1	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	1	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	1	m3			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	1	m3			VSW111013 00 単第0 -0008 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 RC-40	5	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	5	m2			SQZ10 00 単第0 -0009 表
上層路盤 仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 RM-30	5	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	5	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表
上層路盤 仕上り厚10cm,施工幅 1.8m未満 RC-30	1	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	1	m2			SQZ10 00 単第0 -0060 表
仮復旧 t=3cm,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄなし 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	5	m2			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	5	m2			SQ000017 00 単第0 -0012 表
殻運搬処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 AS	0.2	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) AS	0.2	m3			VSW608014 00 単第0 -0015 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 ｱｽﾌｧﾙﾄ殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)	0.2	m3			F2000 00
殻運搬処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 Co	0.1	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) Co	0.1	m3			VSW608013 00 単第0 -0061 表

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 コンクリート殻（密度2.35t/m3） （株）スナダ	0.1	m3			F000000100 00
発生土処理 バックホウ排出対策型 建設発生土	3	m3			Y4999 レベル4
残土処理工（残土） バックホウ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) 砂質土	3	m3			VSW605013 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(受入地) カワモトリサイクルセンター	3	m3			F1000 00
舗装本復旧工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	12	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK24040306 00 単第0 -0001 表

本工事費 内訳表

頁0 -0022

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	5	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒13、t=5cm;人力、プ ライムコト As(2.35)	5	m2			VSW2020133 00 単第0 -0026 表
舗装本復旧工【影響部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	2	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【影響部】 再生密粒13、t=5cm;人力、プ ライムコト As(2.35)	2	m2			VSW2020134 00 単第0 -0029 表
舗装本復旧工 18N, t=10cm 18-8-40BB	1	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工 Co 18N_t=10cm	1	m2			V0000000009 00 単第0 -0063 表
アスファルト殻処分費 再資源化施設	0.3	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン(株)	0.3	m3			F2000 00

本工事費 内訳表

頁0 -0023

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土受入費	0.1	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(受入地) カワモトリサイクルセンター	0.1	m3			F1000 00
給水分岐替工	1	式			Y3999 レベル3
水道用ホリシロ二層管 PE50 1種 φ25	9.4	m			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
水道用ホリシロ二層管 PE50 1種 φ25	9.4	m			THSFA002397 00
ホリ式外ホリ分水栓 PEP用(鋳鉄製、分止水栓用ソケット付) φ50×φ25	1	組			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

本工事費 内訳表

頁0 -0024

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ボール式外分水栓 PEP用（ 鋳鉄製、分止水栓用ソケット付） φ 50 × φ 25	1	組			THSFA002589 00
PE用ソケット（ 砲金製） φ 25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	6	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] ，現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
PE用ソケット（ 砲金製） φ 25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	6	個			F0004 00
PE用ソケット（ 砲金製） φ 25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] ，現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
PE用ソケット（ 砲金製） φ 25 JWWA B 116 WSA規格 耐震性能強化型、コア含む	1	個			F0005 00
PEキャップ φ 25 パイプエンド	3	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] ，現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042

本工事費 内訳表

頁0 -0025

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水道用ポリエチレン管金属継手 パイプ・イント φ 25	3	個			THSFA002433 00
分水栓用閉栓キャップ φ 25	1	個			Y4999 レベル4
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
給水・配水分止水栓等材料 分水栓用閉栓キャップ φ 25	1	個			THSFA002522 00
ポリエチレン管据付工 φ 25	9.4	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 2 5 mm	9.4	m			SQ105 00
サドル分水栓設置工 ポリエチレン管 φ 50 給水管 φ 25	1	箇所			単第0 -0065 表 Y4999 レベル4
サドル分水栓建込み ポリエチレン管 呼び径50mm 配水管 25mm	1	箇所			SQ000039 00
ポリエチレン管継手工 φ 25	17	口			単第0 -0066 表 Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0026

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管継手工 呼び径 2 5 mm	17	口			SQ106 00 単第0 -0067 表
小口径管ねじ込み接合 φ 25	1	口			Y4999 レベル4
小口径管ねじ込み接合 呼び径 25mm	1	口			SQ000033 00 単第0 -0068 表
ポリエチレン管切断 φ 25	8	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 2 5 mm	8	口			SQ110 00 単第0 -0069 表
止水栓設置工 25-両挿-0.4 PE挿し口付ホﾞ-ル止水栓 (JIS外径準拠)	1	箇所			Y4999 レベル4
止水栓設置工 25-0.4 ホﾞ-ル式止水栓(分止ソット-分止ソット)	1	箇所			VSW74002511 00 単第0 -0070 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
止水栓設置工 (管材費) 25-0.4 ホﾞ-ル式止水栓(分止ソット-分止ソット)	1	箇所			VSW74002512 00 単第0 -0072 表

本工事費 内訳表

頁0 -0027

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】	9.0	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	9.0	m			VSE500 00 単第0 -0046 表
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 φ4.4mm【材工共】	9.4	m			Y4999 レベル4
ケーティングワイヤ設置工 被覆外径 φ4.4mm【材工共】	9.4	m			VSE700 00 単第0 -0048 表
給水洗管工 φ25	1	箇所			Y4999 レベル4
給水洗管工 φ25 量水器取付・取外し	1	箇所			VQ000033 00 単第0 -0073 表
止水栓撤去工 φ25	1	箇所			Y4999 レベル4
止水栓撤去 止水栓口径: φ 2 5 mm V P	1	箇所			VQ4522 00 単第0 -0074 表
舗装版切断排水	1	式			Y2999 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0028

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断排水	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断排水処理 舗装版切断排水	0.3	m3			Y4999 レベル4
汚泥吸排車運搬	1	式			V000000100 00 単第0 -0075 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
汚泥処分費 舗装切断（カッター）排水 （有）トラスト	0.3	m3			F5000 00
交通管理工	1	式			Y1K0109 レベル2
交通管理工	1	式			Y1K010901 レベル3
交通誘導警備員	21	人			Y1K01090101 レベル4
交通誘導警備員B	21	人			R0369 00

本工事費 内訳表

頁0 -0029

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費					
準備費					Z0002
準備費					YZZ02 レベル2
	1	式			
準備費（試掘工）					YZZ02001 レベル3
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版					Y4999 レベル4
	16	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	16	m			単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版					Y4999 レベル4
	5	m2			
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下					SQ004 00
	5	m2			単第0 -0002 表
管路掘削 バックホ 排出対策型					Y4999 レベル4
	6	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0030

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	6	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
真砂詰工 B<1.0 ハック杓 排出対策型	1	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	1	m3			VSW101013 00 単第0 -0005 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	4	m3			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)	4	m3			VSW111013 00 単第0 -0008 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 RC-40	5	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	5	m2			SQZ10 00 単第0 -0009 表
上層路盤 仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 RM-30	5	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	5	m2			SQZ10 00 単第0 -0011 表

本工事費 内訳表

頁0 -0031

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧 t=3cm,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄなし 締固め後密度 2.35t/m3	5	m2			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	5	m2			SQ000017 00 単第0 -0012 表
殻運搬処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 AS	0.3	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) AS	0.3	m3			VSW608014 00 単第0 -0015 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) 安芸アスコン㈱	0.3	m3			F2000 00
発生土処理 ﾊﾞｯｸﾙ排出対策型 建設発生土	6	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) ﾊﾞｯｸﾙ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) 砂質土	6	m3			VSW605013 00 単第0 -0020 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047

本工事費 内訳表

頁0 -0032

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(受入地) カワモトリサイクルセンター	6	m3			F1000 00
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
通水試験 φ50 給水車不要	1	式			Y4999 レベル4
通水試験 管径：800mm以下 既設管で注水する	0.07	日			SQ400 00 単第0 -0077 表
通水試験 φ25 給水車不要	1	式			Y4999 レベル4
通水試験（給水管） φ25	1	箇所			VQ106 00 単第0 -0078 表
共通仮設費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....

本工事費 内訳表

頁0 -0033

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
工事原価					
一般管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正..... 対象額合計... 処分費.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額...
一般管理費計					
* * 工事価格計 * *					
* * 消費税相当額計 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0034

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当口

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

舗装版取壊し積込工
舗装厚 0cm超え10cm以下

SQ004

単第0 -0002 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.490	人			
普通作業員	0.740	人			
機-23,24_小型バックホウ運転 クローラ[標準型]山積0.13m3(平積0.10m3) 排出ガス対策型2次基準	0.606	日			単第0-0003 表 100/165
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 舗装厚 0cm超え10cm以下 C=3 排出ガス対策型2次基準			B=2	バックホウ山積0.13m3(平積0.10m3)	

施工単価表

頁0 -0038

機-23,24 小型バックホウ運転
クローラ[標準型]山積0.13m3(平積0.10m3)

S9001

排出ガス対策型2次基準

單第0 -0003 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

真砂詰工(管上20cm迄)

VSW101013

單第0 -0005 表

B < 1.0

バックホウ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)

m3 当日

[illegible]

施工単価表

管路埋戻		SQ006		単第0 -0006 表	
BH投入・タンバ締固め		クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)		100	m3 当り
名称・規格など		数量	単位	単価	金額
土木一般世話役		2.5	人		備考
普通作業員		6.8	人		
機-23,24_小型バックホウ運転 クローラ[標準型]山積0.13m3(平積0.10m3) 排出ガス対策型2次基準		1.538	日		単第0-0003 表 100/65
タンバ運転 (賃料) 質量 6 0 ~ 8 0 kg		3	日		単第0-0007 表
諸雑費		1	式		
*** 合計 ***		100	m3		
*** 単位当たり ***		1	m3		
A=1 C=2	BH投入・タンバ締固め クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)			B=1 D=3	材料別途計上 排出ガス対策型2次基準

施工単価表

頁0 -0042

タンパ運転 (賃料)

S9000017

單第0 -0007 表

質量 60 ~ 80 kg

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

埋戻工(管上20cm ~ 路床天迄)
B < 1.0

VSW111013

單第0 -0008 表

バックホ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3)

m3 当り

[illegible]

施工単価表

路盤工
施工幅 1.8m未満

SQZ10
一層仕上り厚15cm

単第0 -0009 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.780	人			
再生クラッシャー 40～0mm	19.050	m3			
タンバ運転 (賃料) 質量 6 0 ～ 8 0 kg	0.450	日			単第0-0010 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1.8m未満 C=15 一層仕上り厚 (cm)			B=8 RC-40		

施工単価表

頁0 -0045

タンパ運転 (賃料)

S9000017

單第0 -0010 表

目 当り

質量 60 ~ 80 kg

[illegible]

施工単価表

路盤工
施工幅 1.8m未満

SQZ10
一層仕上り厚12cm

単第0 -0011 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.780	人			
再生粒度調整碎石 30～0mm	15.240	m3			
タンバ運転 (賃料) 質量 60～80kg	0.450	日			単第0-0010 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1.8m未満 C=12 一層仕上り厚 (cm)			B=9 再生粒度調整碎石 (RM-30)		

施工単価表

頁0 -0047

アスファルト舗装工(人力)
車道及び路肩 仕上厚3cm

SQ000017
締固め後密度 2 . 3 5 t / m3

単第0 -0012 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	7.544	t			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0013 表
振動コンパクト運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0014 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=3 瀝青材料散布なし F=2 小型車割増あり		

施工単価表

頁0 -0048

アスファルト舗装工(人力)

SQ000017

單第0 -0012 表

車道及び路肩 仕上厚3cm

締固め後密度 2.35 t/m³

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

機-23 振動ローラ運転
(舗装用)ハンドガイド式 0.5~0.6t

S9000001

單第0 -0013 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

振動コンパクト運転
質量40～60kg

S9000003

單第0 -0014 表

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

残土処理工（舗装版）

VSW608014

单第0 -0015 表

バックホウ 排出対策型;BH 0.13m³(平積0.10m³) As

100 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

発生土運搬費(2t積、4t積)
運搬距離0.5km DID区間有り

SQ007
2 t 積 As塊・Co塊 (無筋)

單第0 -0016 表

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・2 t 積級

S9050

単第0 -0017 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	21.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 オンロード・ディーゼル・2 t 積級 C=21 軽油消費量 (L / 日) E=1 路面状況：良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人 / 日) D=1.29 機械損料数量 (供用日 / 日) F=1		

施工単価表

積込(ルーズ)
岩塊・玉石
機械構成比: 43.43% 労務構成比: 37.88% 材料構成比: 18.69% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040007
土量50,000m3未満

単第0 -0018 表
標準単価: 1 m3 当り
281.51000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	43.43%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	37.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 岩塊・玉石			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)
労務構成比: 38.97%

単第0 -0019 表
材料構成比: 16.08%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 3,512.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=42 運搬距離10.5km以下(6.0km超)		

施工単価表

頁0 -0056

残土処理工（残土）

VSW605013

單第0 -0020 表

バックホ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) 砂質土

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

発生土運搬費(2t積、4t積)
運搬距離0.5km DID区間有り

SQ007

單第0 -0021 表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK24040007

単第0 -0022 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 43.43% 労務構成比: 37.88% 材料構成比: 18.69% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 236.18000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	43.43%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	37.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0059

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 45.59%

労務構成比: 39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,360.20000

SPK24040002

DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)

単第0 -0023 表

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=22 距離7.0km以下(6.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0060

伏越工

VSW001

單第0 -0024 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0061

床掘り

SPK24040015

單第0 -0025 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

10,038.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0062

舗装本復旧工【仮復旧部】
再生密粒13、t=5cm;人力、プライムコート

VSW2020133

単第0 -0026 表

As(2.35)

100

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚5cm 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	100	m2			単第0-0027 表
不陸整正工 施工幅 1.8m未満	100	m2			単第0-0028 表
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	100	m2			単第0-0002 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離0.5 k m D I D 区間有り 2 t 積 As塊・Co塊 (無筋)	3	m3			単第0-0016 表
積込(ルーズ) 岩塊・玉石 土量50,000m3未満	3	m3			単第0-0018 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	3	m3			単第0-0019 表
管路掘削 クローラ型山積0.13m3(平積0.1m3)	2	m3			単第0-0004 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離0.5 k m D I D 区間有り 2 t 積 土砂	2	m3			単第0-0021 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	2	m3			単第0-0022 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)	2	m3			単第0-0023 表
* * * 合計 * * *	100	m2			
* * * 単位当たり * * *	1	m2			

施工単価表

頁0 -0063

アスファルト舗装工(人力)
車道及び路肩 仕上厚5cm

SQ000017
締固め後密度 2 . 3 5 t / m3

単第0 -0027 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	12.573	t			
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	126	L			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0013 表
振動コンパクタ運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0014 表
諸雑費	17	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=5 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=2 プライムコート F=2 小型車割増あり		

施工単価表

頁0 -0064

アスファルト舗装工(人力)

SQ000017

單第0 -0027 表

車道及び路肩 仕上厚5cm

締固め後密度 2.35 t/m³

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0065

不陸整正工
施工幅 1.8m未満

SQZ12

單第0 -0028 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

舗装本復旧工【影響部】
再生密粒13、t=5cm;人力、プライムコト

VSW2020134

単第0 -0029 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚5cm 締固め後密度 2 . 3 5 t / m3	100	m2			単第0-0027 表
不陸整正工 施工幅 1.8m未満	100	m2			単第0-0028 表
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	100	m2			単第0-0002 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離0.5 k m D I D 区間有り 2 t 積 As塊・Co塊 (無筋)	5	m3			単第0-0016 表
積込(ルーズ) 岩塊・玉石 土量50,000m3未満	5	m3			単第0-0018 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	5	m3			単第0-0019 表
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0067

ポリエチレン管据付工

SQ105

單第0 -0030 表

呼び径 50 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0068

ポリエチレン管（融着接合）継手工
φ50

VPE10050

單第0 -0031 表

2 □ 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0069

ポリエチレン管（融着接合）継手工
呼び径50mm

SQ108

單第0 -0032 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0070

ポリエチレン管切断
呼び径 50 mm

SQ110

單第0 -0033 表

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0071

不断水穿孔工

VSQ5001001

單第0 -0034 表

1 箇所 当り

φ 100 × φ 50

[illegible]

施工単価表

頁0 -0072

不斷水連絡

SQ058

單第0 -0035 表

本管呼び径 $\phi 100 \times$ 取出呼び径 $\phi 50$

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.220	人			
配管工	0.580	人			
普通作業員	1.340	人			
不断水穿孔機械損料 φ 50mm用	0.140	運転日			
諸雑費	5.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=5 本管呼び径 φ 1 0 0 × 取出呼び径 φ 5 0			B=3201000000 不断水穿孔機械損料【登録単価CODE】(日)		

施工単価表

頁0 -0073

仕切弁設置工
50-PE両フランジ -1.2

VSW72005031

单第0 -0036 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0074

弁設置（人力施工）

VSQ154

單第0 -0037 表

基 当り

管径：φ 50 mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0075

フランジ耐震補強金具取付工

VFH1000501

單第0 -0038 表

φ 50 (フランジ 継手 + フランジ 耐震補強金具設置)

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0076

フランジ継手工 (フランジ 継手 + フランジ 耐震補強) SQ048
呼び径 : φ 6 5 mm以下 J W W A 7 . 5 K

單第0 -0039 表

1 口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0077

仕切弁BOX設置工【材工共】
口径 φ50,土被り 1.20,高さ 1.05

VSB1000503

単第0 -0040 表

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 φ250 円形1号 東広島市形	1	組			
レジンコンクリート製マンホール φ250 調整リング H=50	1	個			
レジンコンクリート製マンホール φ250 上部壁 H=150	1	個			
レジンコンクリート製マンホール φ250 中間壁 H=200	2	個			
レジンコンクリート製マンホール φ350-φ250 下部壁 H=300	1	個			
レジンコンクリート製マンホール φ550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.12	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

頁0 -0078

仕切弁設置工（管材費）

VSW72005032

單第0 -0041 表

50-PE両フランジ -1.2

東広島市型

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

仕切弁設置工
50-PE両挿-0.8

VSW72005011

單第0 -0042 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0080

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1000501

單第0 -0043 表

箇所 当り

口径 $\phi 50$, 土被り 0.80, 高さ 0.65

東広島市型

[illegible]

施工単価表

頁0 -0081

仕切弁設置工（管材費）

VSW72005012

單第0 -0044 表

箇所 当り

50-PE両挿-0.8

東広島市型[illegible]

施工単価表

頁0 -0082

ホ リエチレンスリーブ 被覆工
φ50【材工共】

VSE400050

單第0 -0045 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0083

管埋設シート工

VSE500

單第0 -0046 表

巾15cm 2倍折込式【材工共】

地色:青,文字色:白

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0084

管明示シート工（青地，白文字）

SQ061

單第0 -0047 表

100

m 当然

[illegible]

施工単価表

頁0 -0085

吹付工
被覆外径φ4.4mm【材工共】

VSE700

单第0 -0048 表

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0086

硬質塩化ビニル管据付工

SQ100

單第0 -0049 表

呼び径 50 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0087

硬質塩化ビニル管継手工

SQ101

單第0 -0050 表

呼び径 50 mm

TS 継手

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0088

硬質塩化ビニル管切断

SQ110

單第0 -0051 表

口 当り

呼び径 50 mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0089

鑄鉄継手工（メカニカル形）
 φ50-φ100

VSE10101

單第0 -0052 表

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0090

ポリエチレン管(メカニカル継手)布設
呼び径 50mm

SQ000035

單第0 -0053 表

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0091

コンクリート等取り壊し復旧工

VSW300

單第0 -0054 表

1 箇所 当り

コンクリート 150*150*100

[illegible]

施工単価表

頁0 -0092

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0055 表

人力施工

m3 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0093

モルタル練
普通

SPK24040154

単第0 -0056 表

1
標準単価： m3 当り
94,888.00000

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0094

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0057 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.36%

労務構成比:

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,222.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	9.09%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0095

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0057 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.36%

勞務構成比：

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,222.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0096

舗装版取壊し積込工
コンクリート舗装 t=10cm

V0000000007

單第0 -0058 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0097

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0059 表

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

路盤工
施工幅 1.8m未満

SQZ10
一層仕上り厚10cm

単第0 -0060 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.780	人			
再生クラッシャー 30～0mm	12.700	m3			
タンバ運転 (賃料) 質量 60～80kg	0.450	日			単第0-0010 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1.8m未満 C=10 一層仕上り厚 (cm)			B=7 RC-30		

施工単価表

頁0 -0099

残土処理工（舗装版）

VSW608013

單第0 -0061 表

バックホウ 排出対策型;BH 0.13m3(平積0.10m3) Co

100 m3 当り

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0062 表
1
標準単価: 1,684.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0 -0101

工旧復本装舖

V0000000009

單第0 -0063 表

m2

当り

Co 18N t=10cm

[illegible]

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0064 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m3 当り

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		13.20%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		7.51%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		6.69%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=3	人力打設		
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生		
H=2	現場内小運搬無し			J=2	小型車割増有		
K=1	-(全ての費用)						

施工単価表

頁0 -0103

ポリエチレン管据付工

SQ105

單第0 -0065 表

呼び径 25 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0104

サドル分水栓建込み

SQ000039

單第0 -0066 表

ポリエチレン管 呼び径50mm

配水管 25mm

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0105

ポリエチレン管継手工

SQ106

單第0 -0067 表

呼び径 25 mm

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0106

小口径管ねじ込み接合

SQ000033

單第0 -0068 表

口 当り

呼び径 25mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0107

ポリエチレン管切断
呼び径 25 mm

SQ110

單第0 -0069 表

口 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0108

止水栓設置工
25-0.4

VSW74002511

單第0 -0070 表

箇所 当り

ボール式止水栓(分止ソケット-分止ソケット)

[illegible]

施工単価表

頁0 -0109

止水栓取付

SQ452

單第0 -0071 表

止水栓口径：φ 25 mm

PP用

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0110

止水栓設置工（管材費）

VSW74002512

單第0 -0072 表

$$\underline{25-0.4}$$

ボール式止水栓(分止ソケット-分止ソケット)

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0111

給水洗管工
φ25

VQ000033
量水器取付・取外し

單第0 -0073 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0112

止水栓撤去

止水栓口径：φ 25 mm

VQ4522

單第0 -0074 表

箇所 当り

V P

[illegible]

施工単価表

頁0 -0113

污泥吸排車運搬

V000000100

單第0 -0075 表

1 式 当り

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0114

汚泥吸排車運転

V9999

單第0 -0076 表

積載質量3.1~3.5t 吸入管径75mm

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0115

通水試験
管径：800mm以下

SQ400
既設管で注水する

單第0 -0077 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0116

通水試験（給水管）

VQ106

單第0 -0078 表

箇所 当り

$\varnothing 25$

[illegible]

令和7年度 上水道拡張事業

八本松飯田五丁目地区配水管布設工事

数 量 計 算 書

広島県水道広域連合企業団
東 広 島 事 務 所

1 . PEP (EF) ϕ 50

PEP (EF) ϕ 50mm配水管 土工

土工延長集計表

[illegible]

PEP (EF) ϕ 50mm配水管 土工

土工集計表

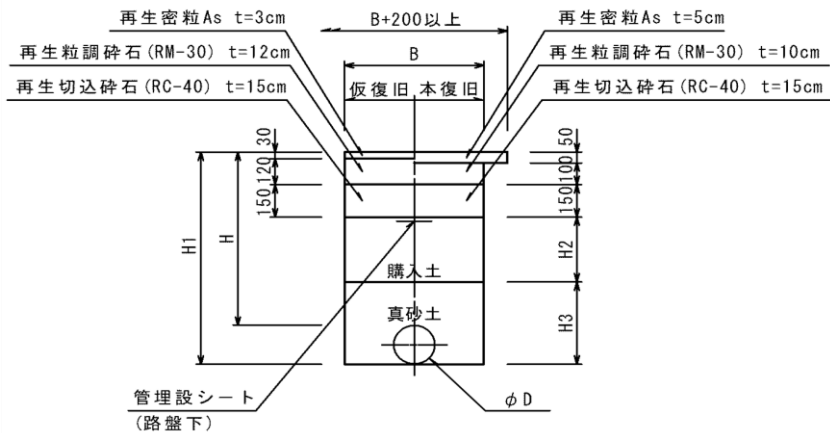
[illegible]

路面復旧工集計表

[illegible]

土工単位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 50 - 0.8

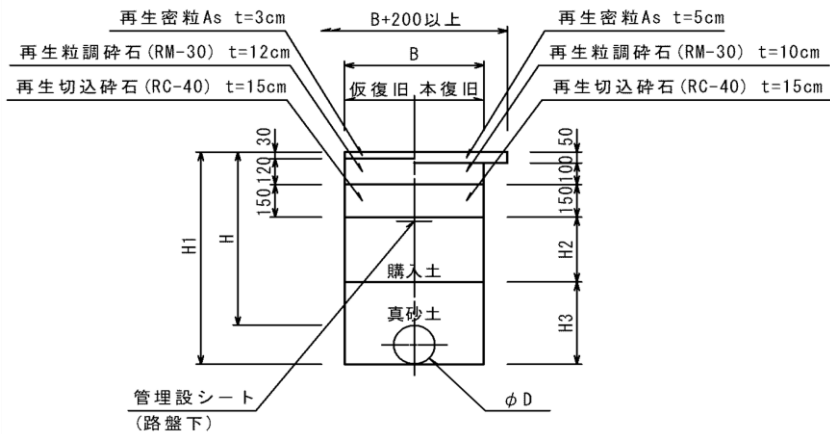


記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1- 50-0.8	50	600	800	860	300	260	
車-A1- 50-1.2	50	600	1200	1260	700	260	

[illegible]

土工單位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 50 - 1.2

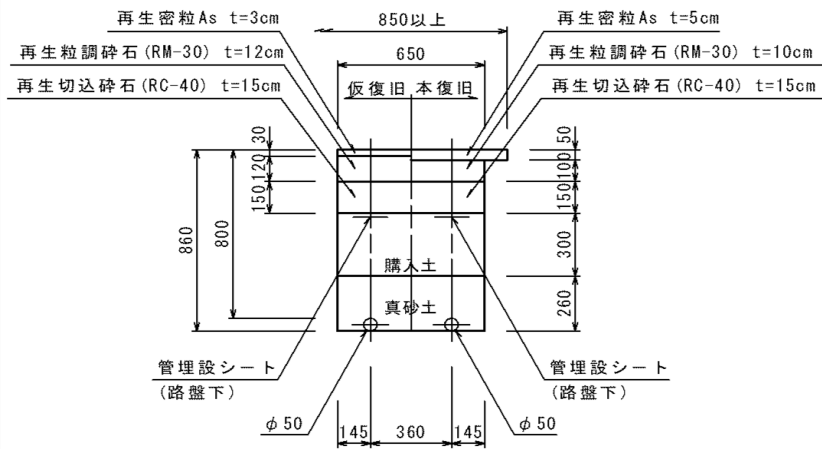


記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1- 50-0.8	50	600	800	860	300	260	
車-A1- 50-1.2	50	600	1200	1260	700	260	

[illegible]

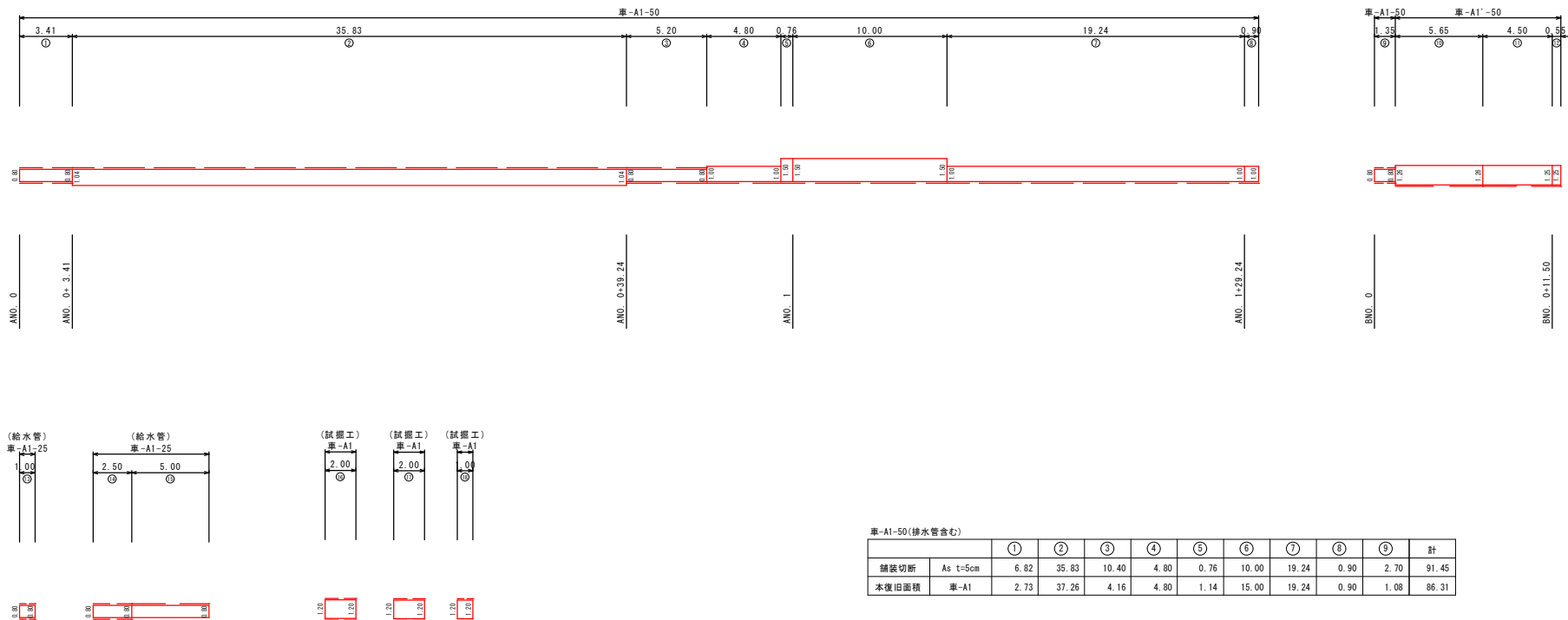
土工單位數量計算書(1m当り)

車 - A1' - 50 - 0.8

[illegible]

舗装復旧展開図 S=1/150

(参考図)



車-A1-50(排水管含む)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
舗装切断	As t=5cm	6.82	35.83	10.40	4.80	0.76	10.00	19.24	0.90	2.70	91.45
本復旧面積	車-A1	2.73	37.26	4.16	4.80	1.14	15.00	19.24	0.90	1.08	86.31

車-A1'-50(排水管含む)

		⑩	⑪	⑫	計
舗装切断	As t=5cm	5.65	4.50	0.55	10.70
本復旧面積	車-A1'	7.12	5.65	0.69	13.46

車-A1-25(給水管)

		⑬	⑭	⑮	計
舗装切断	As t=5cm	2.00	5.00	5.00	12.00
本復旧面積	車-A1	0.80	2.00	4.00	6.80

車-A1(試掘工)

		⑯	⑰	⑱	計
舗装切断	As t=5cm	4.00	4.00	2.00	10.00
本復旧面積	車-A1	2.40	2.40	1.20	6.00

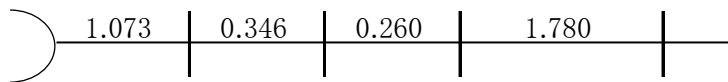
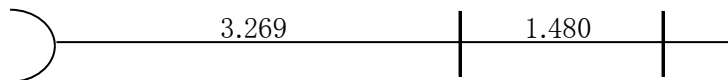
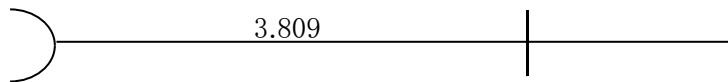
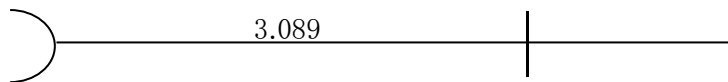
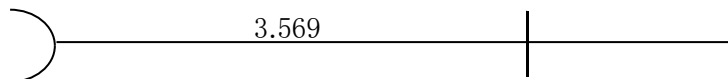
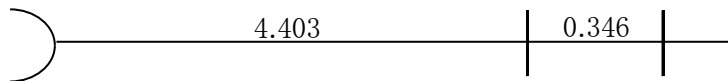
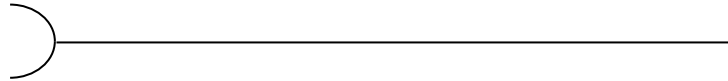
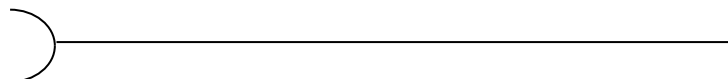
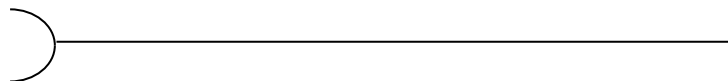
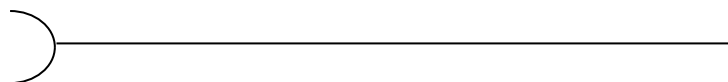
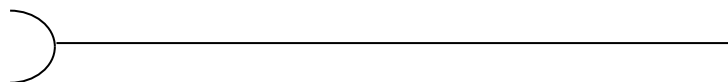
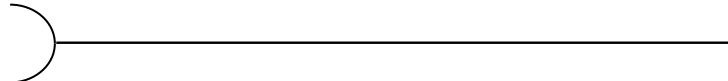
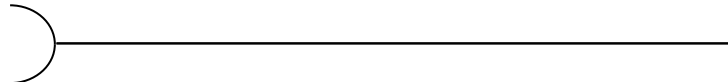
舗装切断線

図面番号		縮尺	1/150
工種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松西六丁目地区ほか地区配水管布設工事		
種別	舗装復旧展開図(参考図)		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

φ 50 PEP(EF) 材料集計表														
名 称	形 状	1個当り 材料延長	Aルート		Bルート						単位	計		備 考
			数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長	数 量	布 設 長		数 量	布 設 長	
片受直管	PEP(EF) φ 50× 5.050	5.050	11	55.550	1	5.050					本	18	60.600	12 + 6(切管用) = 18本
(甲 切 管)	PEP(EF) φ 50	切管調書参照	(5)	14.809	(1)	4.403					本	(6)	19.212	
(乙 切 管)	PEP(EF) φ 50	切管調書参照	(4)	3.866	(1)	0.346					本	(5)	4.212	
片受バンド	PEP(EF) φ 50× 45°	0.270	11	2.970							個	11	2.970	
両受バンド	PEP(EF) φ 50× 45°	0.220	5	1.100	2	0.440					個	7	1.540	
PE挿し口付 フランジ短管	(GF形) φ 50 7.5k	0.360	1	0.360	1	0.360					個	2	0.720	
不断水割T字管	VP用 SF型(GF形) φ 100× φ 50 シーバー弁付	0.207	1	0.207	1	0.207					個	2	0.414	
ソフトシール仕切弁	φ 50 7.5K	0.180	1	0.180	1	0.180					基	2	0.360	
継ぎ足しキー	L=700	—	1	—	1	—					本	2	—	
仕切弁ボックス	ボックス高 H=1.05	—	1	—	1	—					組	2	—	
仕切弁設置工	50-PE両挿-0.8	0.680	(1)	0.680	(1)	0.680					ヶ所	(2)	1.360	
		延長計		79.722		11.666							91.388	
フランジ継手材	SUS304 B.N. パッキン φ 50 GF形 7.5K		2		2						組	4		
フランジ耐震補強金具	離脱防止性能3DkN φ 50		2		2						組	4		
管明示テープ	管延長			79.722		11.666					m	91.4	91.388	91.388/20m=4.57巻
ロケーティングロイヤー	管延長			79.722		11.666					m	91.4	91.388	
管埋設シート	水平長			79.240		11.500					m	90.7	90.740	90.740/50m=1.81巻

切管調書

(単位長：5.05 m)

No.	原管形式	管 種	切 管 内 容	有 効 長						計	残管	切断工	備 考
				甲切	乙 切								
1	EF片受	PEP		1.073	0.346	0.260	1.780			3.459	1.591	4	
2	EF片受	PEP		3.269	1.480					4.749	0.301	2	
3	EF片受	PEP		3.809						3.809	1.241	1	
4	EF片受	PEP		3.089						3.089	1.961	1	
5	EF片受	PEP		3.569						3.569	1.481	1	
6	EF片受	PEP		4.403	0.346					4.749	0.301	2	
													
													
													
													
													
													
													
計	(直管計上 6本)			19.212	4.212					23.424	6.876	11	

φ 50 PEP(EF) 布設工											
名 称	形 状	単位	数 量	算 出 式							備 考
ポリエチレン管据付工	φ 50 (融着接合)	m	89.3	PE挿し口付仕切弁 不断水割T字管 ソフトシール仕切弁 91.388 - 0.680 × 2 -(0.207 + 0.180)× 2 = 89.254							
ポリエチレン管継手工	φ 50 (1口継手)	口	43	直管 片45° 両45° 18 + 11 + 7 × 2 = 43							
ポリエチレン管切断工	φ 50	ヶ所	11	※切管調書より							
フランジ継手工	φ 50 7.5k	口	2	不断水割T字 4 - 2 = 2							
フランジ耐震補強金具取付工	φ 50	ヶ所	4								
不断水割T字管設置工	VP用 SF型 φ 100× φ 50	ヶ所	2	仕切弁設置含む							
仕切弁ボックス設置工	継ぎ足しキー L=700 φ 50 H=1.05	ヶ所	2	(材工共)							
ポリスリーブ被覆工	φ 50	m	4.0	ソフトシール仕切弁 PE挿し口付フランジ短管 (2 + 2)× 1.0 m/ヶ所 = 4.000							
仕切弁設置工	50-PE両挿-0.8	ヶ所	2	(材工共)							
管明示テープ工		m	91.4								
ロケーティングワイヤー設置工		m	91.4								
管理設シート工		m	90.7								
通水試験工	φ 50 給水車なし	日	0.07	91.388 ÷ 1250 m / 日 = 0.073							

2. 排水管 HIVP(TS) ϕ 50

HIVP (TS) ϕ 50mm 排水管 土工

土工延長集計表

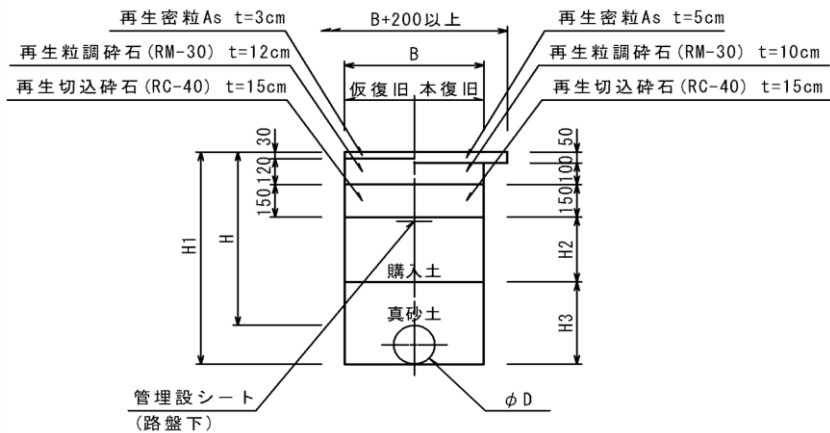
[illegible]

土工集計表

[illegible]

土工單位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 50 - 0.8

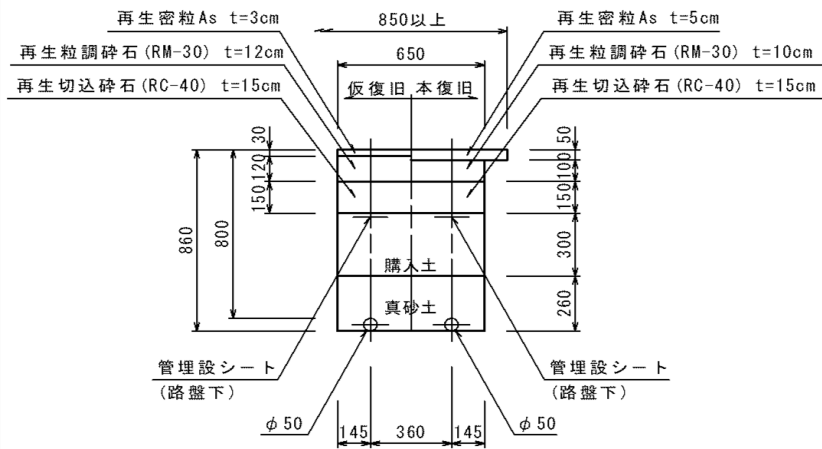


記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1- 50-0.8	50	600	800	860	300	260	
車-A1- 50-1.2	50	600	1200	1260	700	260	

[illegible]

土工單位數量計算書(1m当り)

車 - A1' - 50 - 0.8

[illegible]

排水管 φ 50 HIVP(TS) 材料集計表

[illegible]

排水管 φ 50 HIVP(TS) 布設工

[illegible]

3. 給水管分岐替工

給水管分岐替工 土工

土工延長集計表

[illegible]

給水管分岐替工 土工 土工集計表

[illegible]

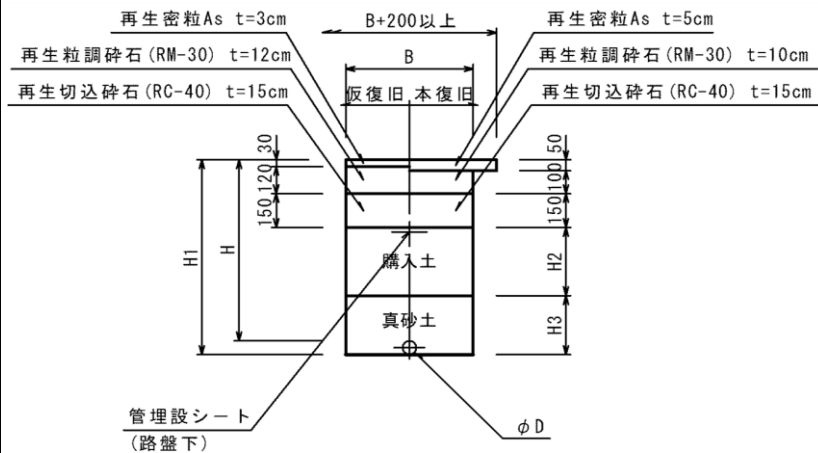
給水管分岐替工 土工

路面復旧工集計表

[illegible]

土工単位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 25 - 0.6

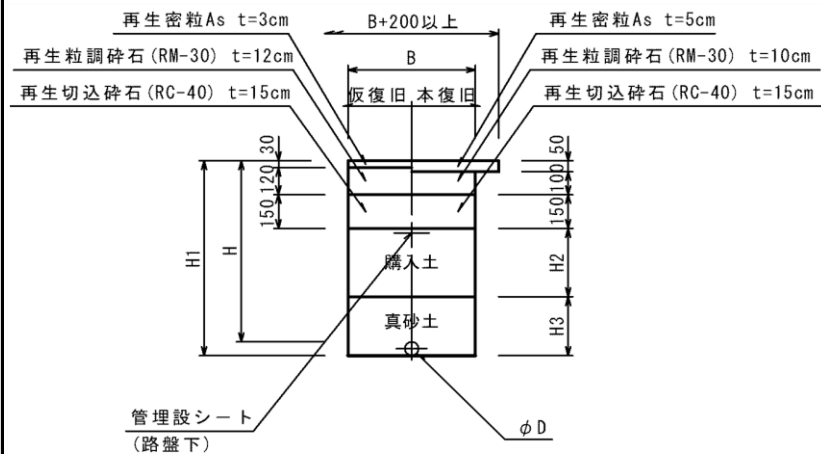


記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1-25-0.6	25	600	600	630	100	230	
車-A1-25-0.8	25	600	800	830	300	230	

[illegible]

土工単位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 25 - 0.8

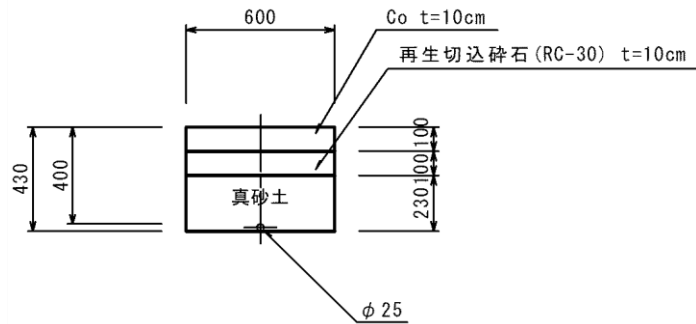


記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1-25-0.6	25	600	600	630	100	230	
車-A1-25-0.8	25	600	800	830	300	230	

[illegible]

土工單位數量計算書(1m当り)

民 - C0 - 25 - 0.4

[illegible]

給水管分岐替工 布設工					
名 称	形 状	単位	数 量	算 出 式	備 考
ポリエチレン管据付工	φ 25(融着接合)	m	9.4	9.400	
サドル分水栓設置工	PEP用 φ 50× φ 25	ヶ所	1		
PE継手工	φ 25	口	17	$\begin{matrix} 90^\circ \text{エルボ}^\circ & \text{ソケット} & & \text{PEキャップ}^\circ \\ (6 & + & 1) \times 2 & + & 3 = 17 \end{matrix}$	
ねじ込み継手工	φ 25	口	(1)	$\begin{matrix} \text{分水栓用閉栓キャップ}^\circ \\ 1 \end{matrix}$	
ポリエチレン管切断工	φ 25	口	8		
止水栓設置工	φ 25	ヶ所	1		
止水栓ボックス設置工	H=400	ヶ所	1		
ロケーティングワイヤー 設置工		m	9.4		
管埋設シート工		m	9.0		
既設止水栓撤去工	φ 25	ヶ所	1	既設止水栓ボックス撤去含む	
メーター洗管工	量水器解体・取付 φ 25	ヶ所	1		
通水試験工	φ 25	ヶ所	1		

4. 準備工

準備工 土工

土工延長集計表

[illegible]

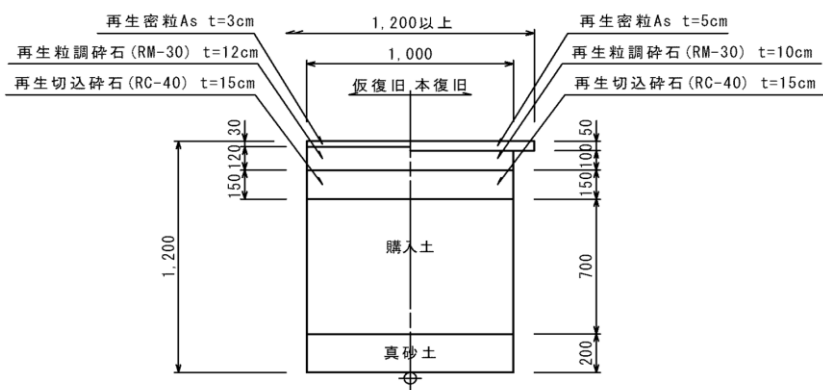
準備工 土工

土工集計表

[illegible]

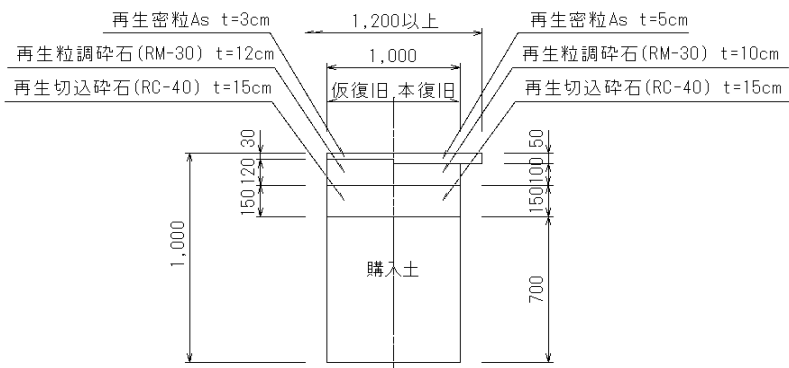
土工單位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 1.2 (試掘工)

[illegible]

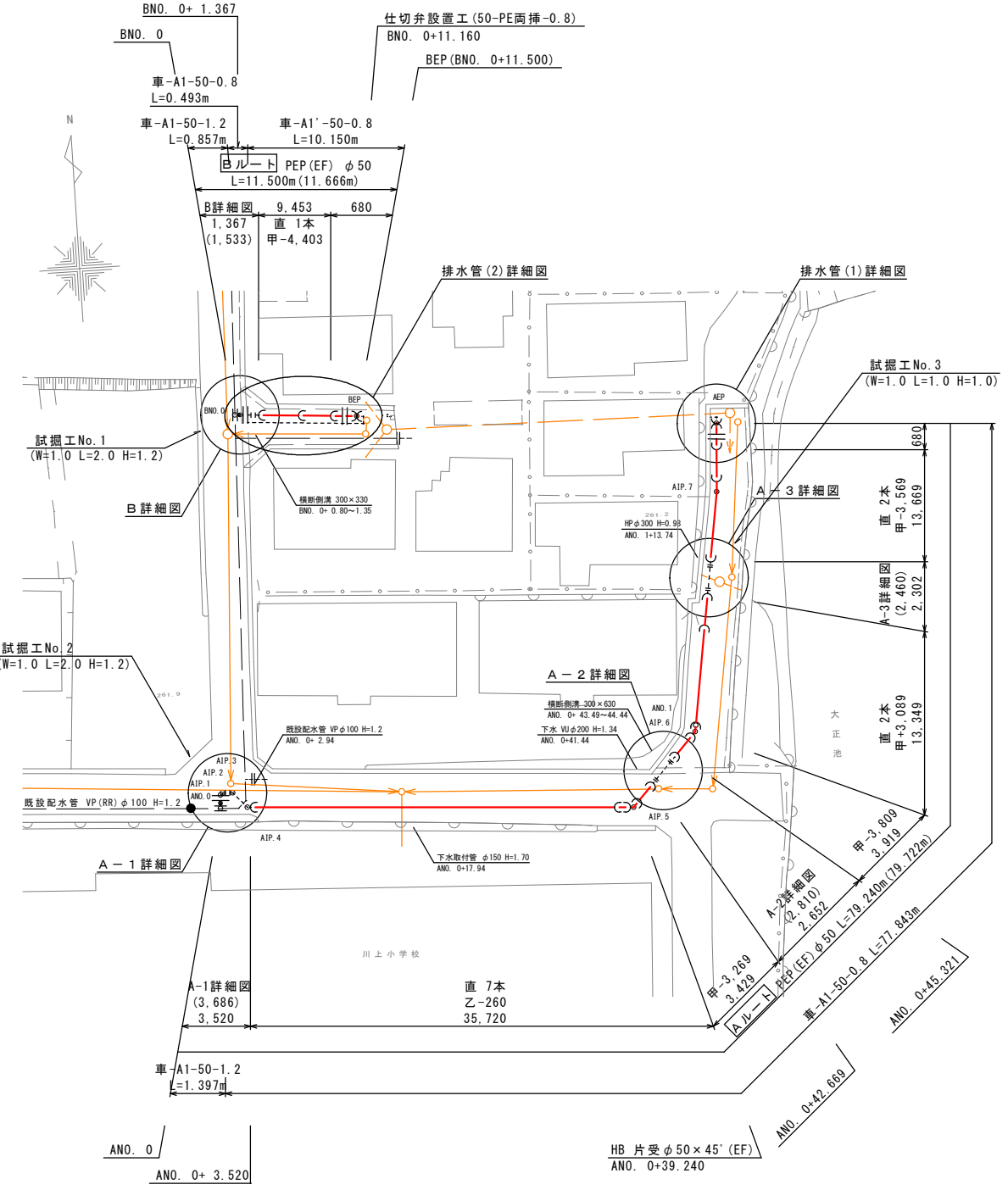
土工単位数量計算書(1m当り)

車 - A1 - 1.0 (試掘工)

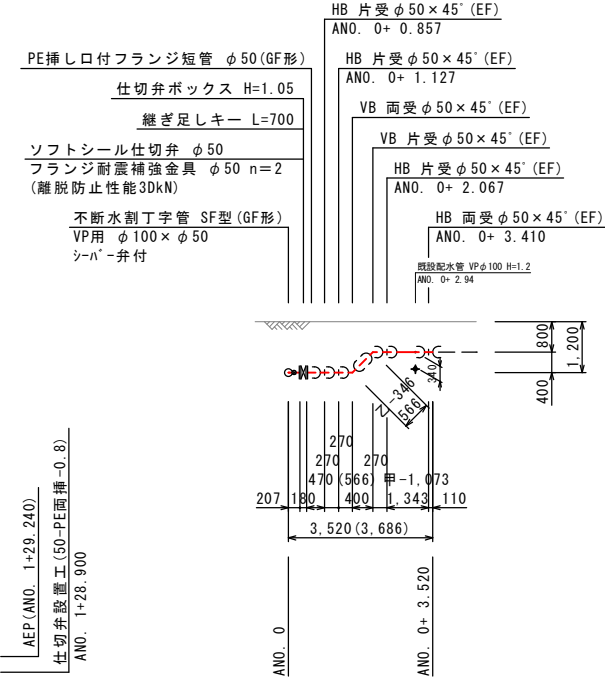
[illegible]

積算参考図

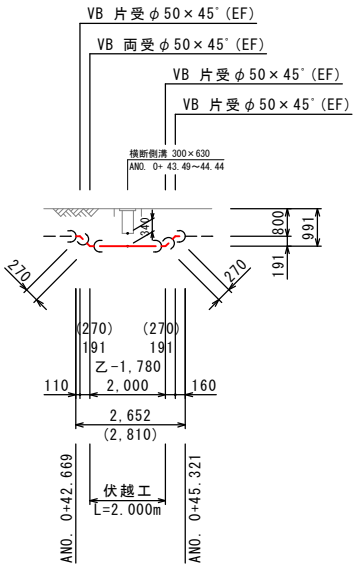
平面図 S=1/300



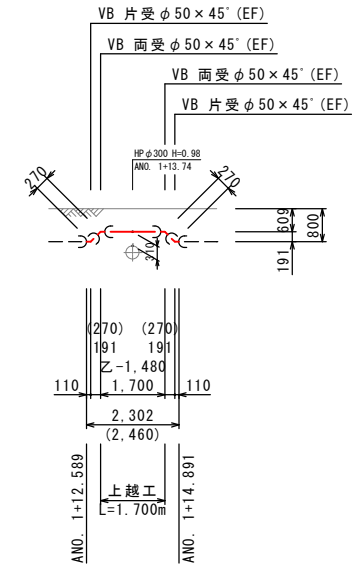
A-1 詳細図 S=1/100



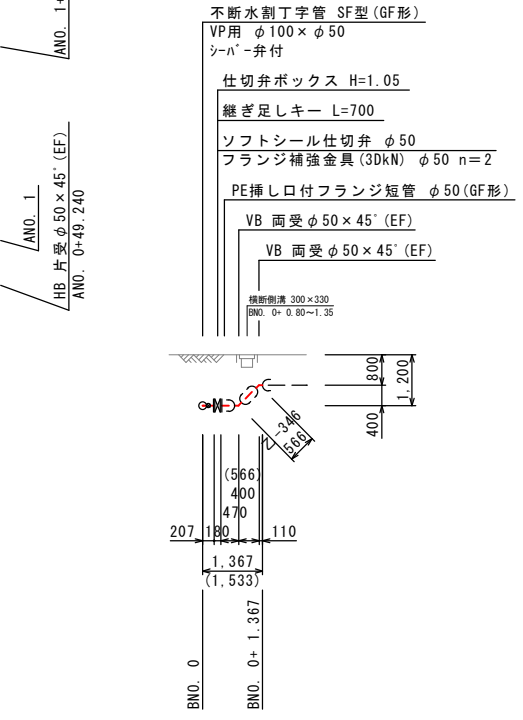
A-2 詳細図 S=1/100



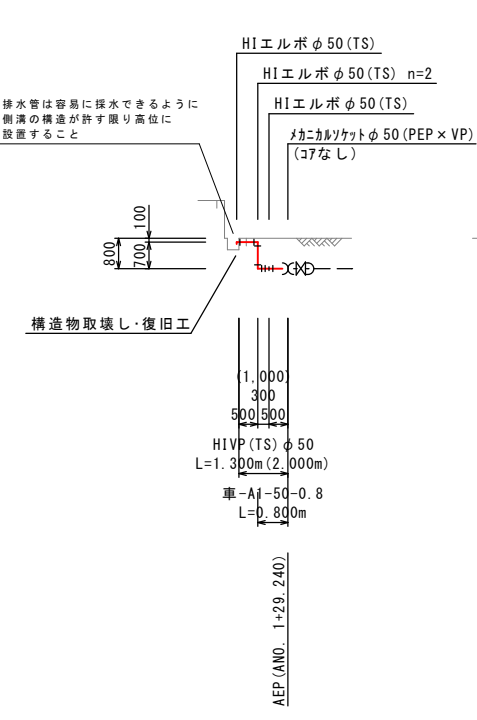
A-3 詳細図 S=1/100



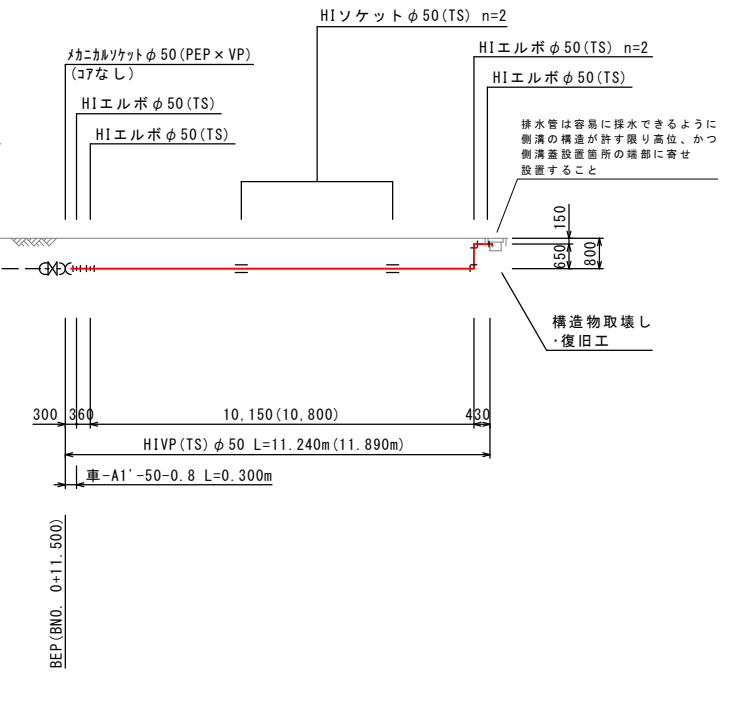
B 詳細図 S=1/100



排水管(1) 詳細図 S=1/100



排水管(2) 詳細図 S=1/100

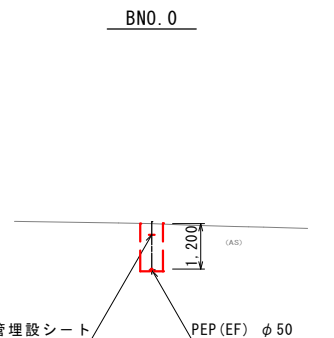
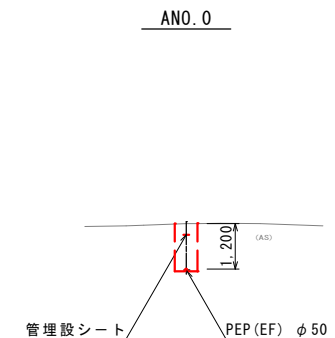
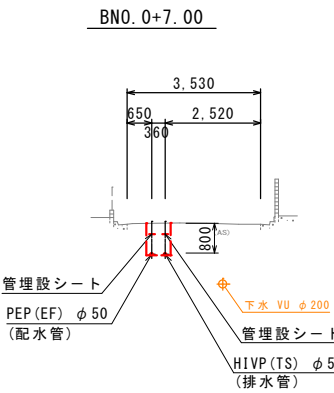
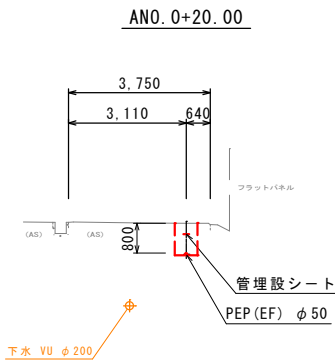
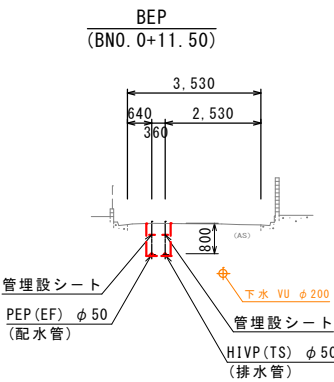
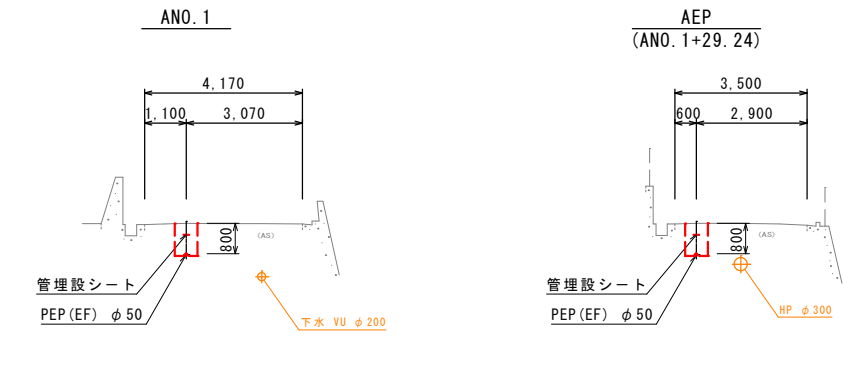


設計水圧
PEP 0.69MPa
フランジ 7.5K仕様

図面番号		縮尺	図示
工種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事		
種別	平面図 詳細図		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

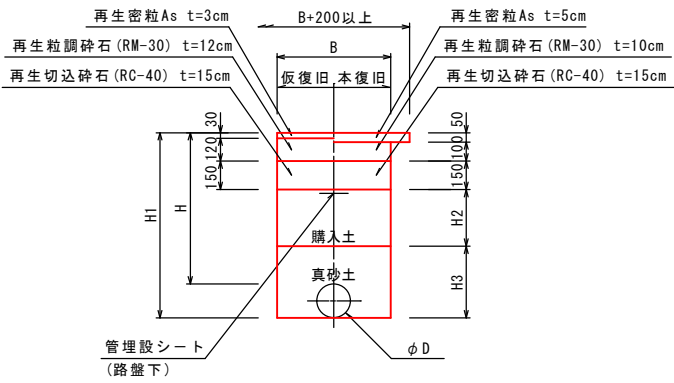
Aルート

Bルート

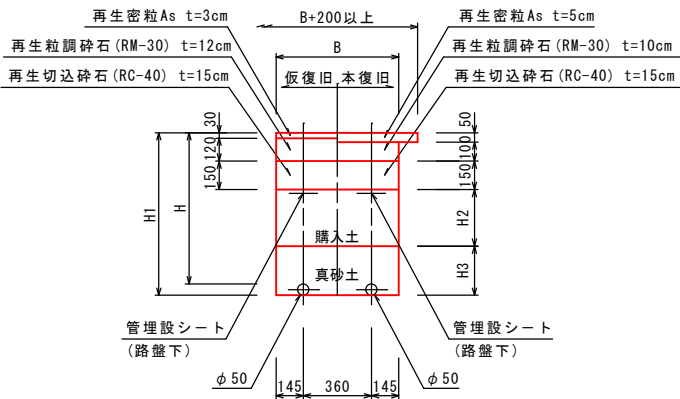


車-A1-D-H

車-A1'-50-0.8



記号	D	B	H	H1	H2	H3	備考
車-A1-50-0.8	50	600	800	860	300	260	
車-A1-50-1.2	50	600	1200	1260	700	260	

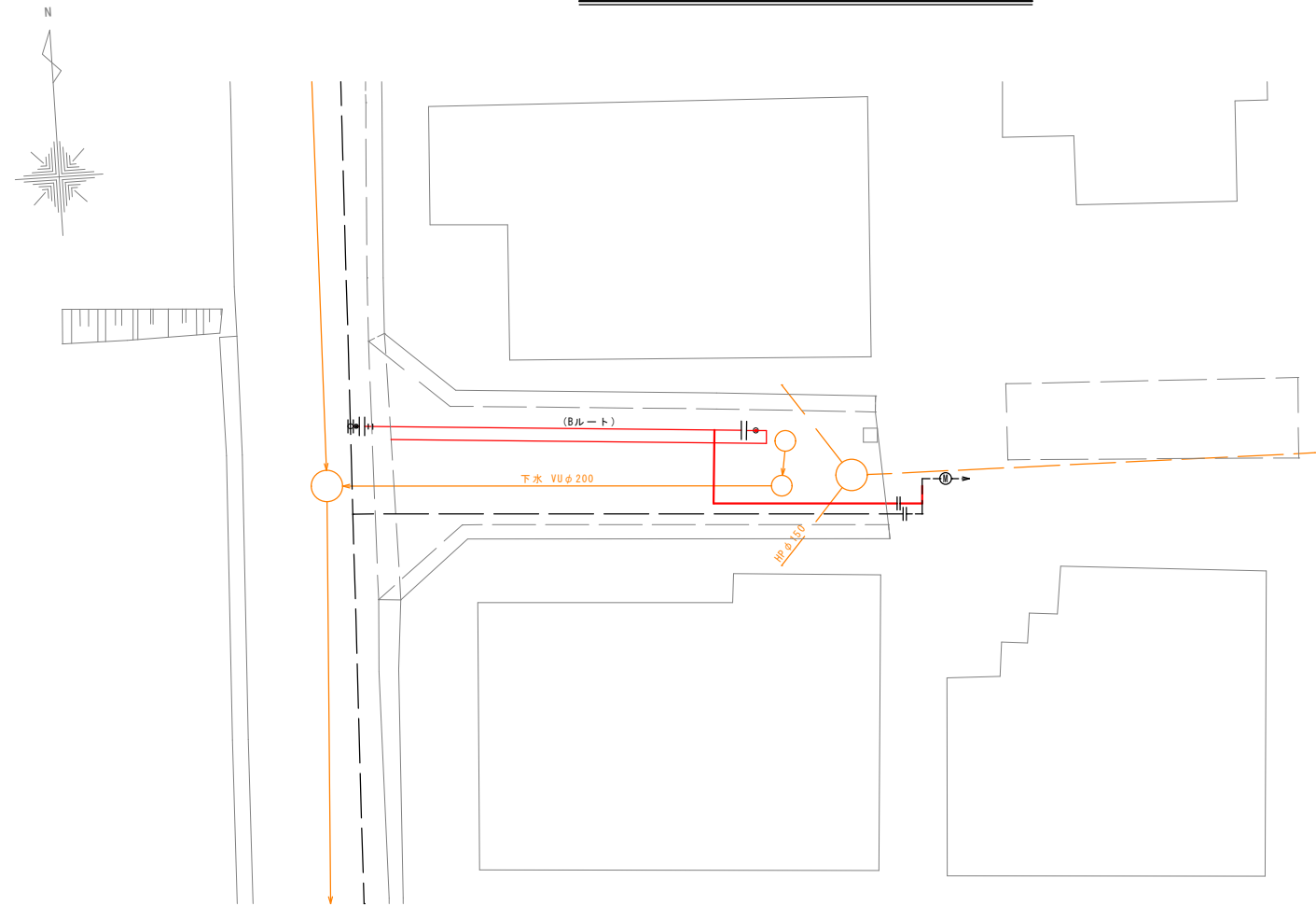


記号	D	B	H	H1	H2	H3	備考
車-A1'-50-0.8	50	650	800	860	300	260	

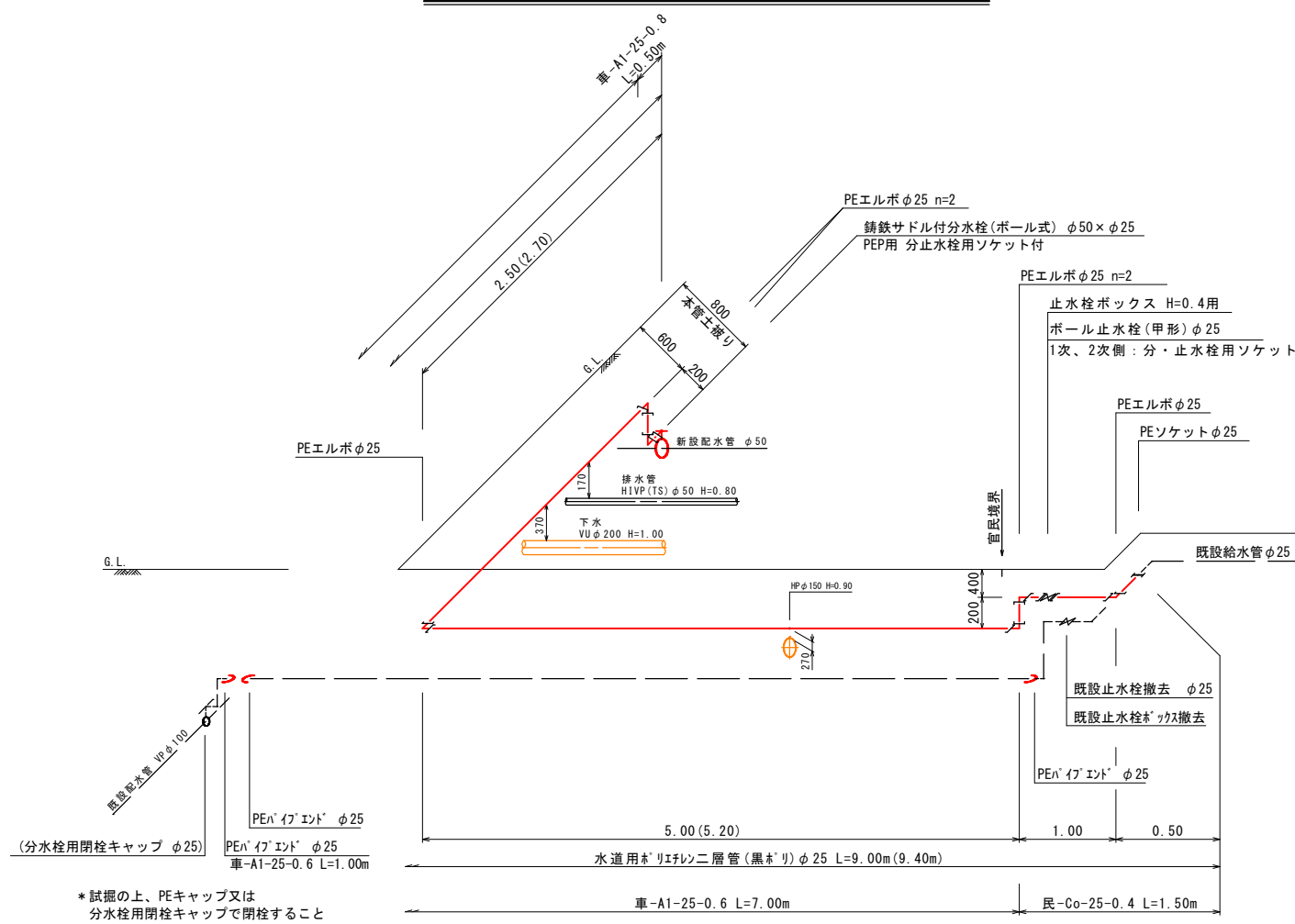
図面番号	2 3	縮尺	図示
工種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事		
種別	横断図・標準床掘断面図		
工事箇所	東広島市八本松飯田五丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

積算参考図

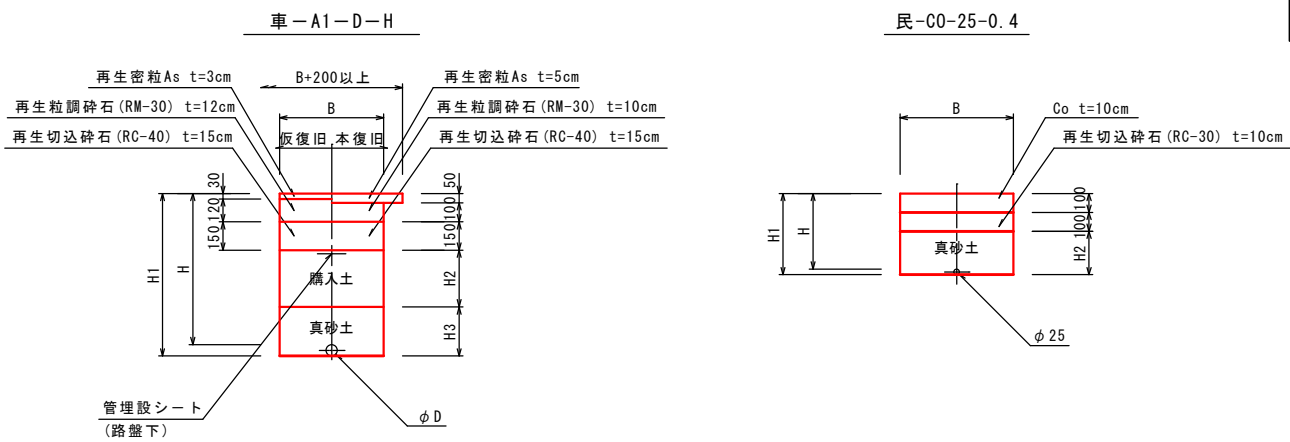
給水管平面図 S=1/100



給水管分岐替工参考図 S=FREE



給水管床掘標準断面図 S=1/20



給水管分岐替工数量表

本管 口径	宅地 NO.	鉄製サドル付分水栓 (φ-4式)	閉栓キャップ 分・止水栓用継手 (WSA規格)	PE	PE エルボ (WSA規格)	PE ソケット (WSA規格)	PE パイプエンド	止水栓BOX (樹脂製)	止水栓設置工 (1次側:分・止水栓用ナット 2次側:分・止水栓用ナット)	既設止水栓撤去	既設止水栓BOX撤去	H	H1	管理設シート	管埋設シート	土工延長			備 考
		φ50×φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	φ25	H=400			(m)	(m)	車-A1-25-0.8	車-A1-25-0.6	民-C0-25-0.4	
φ50	1	1	1	9.00 (9.40)	6	1	3	1	1	1	1	0.80	0.40	7.50	7.90	0.50	7.00	1.50	
	計	1	1	9.00 (9.40)	6	1	3	1	1	1	1			7.50	7.90	0.50	7.00	1.50	

※PE金属継手は、耐震性能強化型(WSA規格)を使用すること。

記 号	D	B	H	H1	H2	H3	備 考
車-A1-25-0.6	25	600	600	630	100	230	
車-A1-25-0.8	25	600	800	830	300	230	

記 号	D	B	H	H1	H2	備 考
民-C0-25-0.4	25	600	400	430	200	

図面番号	縮尺	図示
工 種	令和7年度 上水道拡張事業 八本松飯田五丁目地区配水管布設工事	
種 別	給水管平面図・給水管分岐替工参考図 給水管床掘標準断面図	
工 事 箇 所	東広島市八本松飯田五丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		